

わくわく 算数1~6のご紹介



教科書のご紹介 Webページ

新しい教科書の特長を
動画で紹介しています。

https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/sho/text_2020/sansu/

●付録のCDからもご覧になれます。



啓林館

6年間の算数の授業時間

合計 45495 分*

6年間で身につけたい力は何ですか？

* 授業1時間分を45分として計算。



学びがつながる, わくわく算数。

春に入学した1年生の子どもたちが, 6年生になって卒業するまで。

算数の授業時間は, 45495分。45分授業の回数で言うと, 実に1011回もあるのです。

これだけの時間をかけて, 子どもたちは小学校で算数を学習しますが,
分数の計算をしたり, 三角形の面積を求めたり, 単なる算数の知識や技能だけを
身につけるではありません。

6年間の学習を通して, 本当に身につけてほしいのは,
これからの社会を生き抜く基礎となる力。

たとえば, 無批判に全ての情報を鵜呑みにするのではなく,
少し立ち止まって判断できる人になってほしい。

たとえば, 新しい問題に出会ったときにすぐに諦めるのではなく,
これまでの問題と似ているところを手掛かりに, 問題を解決できる人になってほしい。

これからの社会を生き抜くという, 遠い話に思えるかもしれませんが,
小学校の学習で身につけたことは, たしかに未来につながっていきます。
入学前からのつながり。卒業後へのつながり。日々の学習のつながり。

今回, わくわく算数は「学びのつながり」を大切に, 内容を大きく見直しました。
最終的には, これからの社会を生き抜く力を身につけてほしい。
けれど, 毎日の学習では, つまずきの原因を取り除いて丁寧。

6年間のなめらかな学びのつながりが, 一人ひとりの成長を支えます。

一人ひとりの, 学びのつながりを大切に。
わくわく算数が6年間の学びを支えます。



目次

編集の基本方針	2
---------	---

教科書の構成	4
--------	---

学びのステップ

学びのステップ 1 丁寧なスタートで、学びやすく教えやすい

① 板書やノートで、学びが見える授業開き	6
② 新1年生が安心して学べるスタートカリキュラム	8
③ 毎単元使えるレディネスチェック	9

学びのステップ 2 見方・考え方が働く展開で、学びが深まる

④ 主体的に取り組める毎日の学習	10
⑤ 問題解決のプロセスが見える思考法単元	12
⑥ 個にあわせた学びが実現できる巻末オプション	14
⑦ 学びがより深まる単元の出口	15

学びのステップ 3 様々なコーナーで、学びが定着する

⑧ 学びがいきて身につく活用ページ	16
⑨ つまずきに対応した復習・学年の総復習	18
⑩ 社会への活用を実感できる6年の学年末	19

特集① 統計	20
--------	----

特集② 割合 図の系統	22
-------------	----

学年別の特色	26
--------	----

学年別単元一覧表	38
----------	----

領域別系統表	44
--------	----

観点別特色一覧表	54
----------	----

周辺教材のご紹介	66
----------	----

編集の基本方針／

1

生活していく上で、基礎となる数学的知識・技能を習得できる教科書

2

筋道を立てて考える能力を育て、
ものごとを合理的に処理する力をつけることができる教科書

3

新しいものごとを理解し、
創造する能力と主体的に学習する態度を養うことができる教科書



これからの社会では、グローバル化の進展や継続的な技術革新などによって変化が加速することが予測されています。そして、そのような環境の中を生き抜いていくためには、社会の変化に対応するとともに、社会をよりよく変えていくことが求められます。教育においても、人間ならではの強みを活かして、価値ある新たなものを生み出す資質・能力を育成することが必要とされ、習得・活用・探究という従来の教育観に加え、自立と協働による「創造」の重要性も強調されています。

「わくわく算数」では、このような教育の方向を踏まえ、

自立：自ら問題を見つけ、見通しをもって解決へと向かう学び

協働：他者と考えを共有し、よりよい解決へと高めあう学び

を重視し、「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」を提案しています。また、日々の実践を通して先生方から頂くご意見や、TIMSSやPISAといった国際調査、全国学力・学習状況調査などの結果から見えてくる課題にも真摯に向き合って編集を行いました。



編集委員長
清水 静海
帝京大学教授

今回、「わくわく算数」は、すべての子どもたちと先生方が算数を学ぶ楽しさや算数のよさに触れられるように、「学びやすく教えやすい教科書」をコンセプトに大きく改訂しました。

「わくわく算数」で算数を学ぶ子どもたちが、これからの社会を生き抜いていく力を確かに、そして、豊かに身につけてくれることを願っています。

新学習指導要領、算数はどう変わったの？

〔2020算数基礎知識〕



資質・能力の3つの柱とは

新学習指導要領では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱で全ての教科の目標や内容が整理され、それに伴って評価の観点も見直されています。

教育課程全体を通して
育成を目指す資質・能力

ア「何を理解しているか、何ができるか」
イ「理解していること・できることをどう使うか」
ウ「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」



数学的な見方・考え方とは

新学習指導要領解説では、「数学的な見方」「数学的な考え方」をそれぞれ次のように述べて、これらを働かせることが創造的な算数の学習に不可欠なものであるとしています。



新領域「データの活用」について

算数科の領域区分は、中学校「数学」との接続に配慮して次のように見直されました。

1～3年	4～6年	中学校
A「数と計算」	A「数と計算」	A「数と式」
B「図形」	B「図形」	B「図形」
C「測定」	C「変化と関係」	C「関数」
D「データの活用」	D「データの活用」	D「データの活用」

「データの活用」は、高等学校「数学I」まで共通で設定されています。

数学的な見方

事象を数量や図形及びそれらの関係についての概念等に着眼してその特徴や本質を捉えること

数学的な考え方

目的に応じて数、式、図、表、グラフ等を活用しつつ、根拠を基に筋道を立てて考え、問題解決の過程を振り返るなどして既習の知識及び技能等を関連付けながら、統合的・発展的に考えること

1
2 3

数学的活動とは

新学習指導要領解説では、「数学的活動」を「事象を数理的に捉え、算数の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行すること」と述べています。今回、従来の用語「算数的活動」が「数学的活動」に改められましたが、これは従来の意味を、問題発見や問題解決の過程に位置付けてより明確に捉え、小・中・高等学校を通して、趣旨を一層徹底するために示されたものです。



プログラミング教育について

新学習指導要領解説では、「プログラミング的思考」を「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要か、どのように改善していけばより意図した活動に近づくのかということを論理的に考えていく力の一つ」と述べています。また、算数科において、プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための学習活動として、正多角形の作図の学習と関連させた取り扱いが例示されています。

教科書の構成

巻頭に「学びのナビゲーション」、巻末に「学びのサポート」を設け、より学びやすく教える教科書を目指しました。
活用内容は「わくわく算数ひろば」として学期末にまとめ、扱いやすくしています。



QRコンテンツについて

今回、教科書紙面にQRコードを掲載しました。
お手持ちのスマートフォンやタブレットで読み取ると、学習の参考になるコンテンツが閲覧できます。
授業や家庭学習で、ぜひご活用ください。
※すべての児童が一律に学習する必要はありません。



6年p.10 掲載 単元I
「対称な図形」じゅんび
問題コンテンツ

全単元に用意した「じゅんび」の問題を手軽にチェックできます。
ヒント機能もついています。

▶ 詳細は p.9に

3下p.4 掲載 単元II
「円と球」コンパスの使い方
動画コンテンツ

授業内で繰り返し再生したり、家に帰ってから復習したりして、コンパスの使い方を定着させることができます。

5年p.236 掲載
「わくわく算数ひろば 算数ラボ」
プログラミング体験コンテンツ

プログラミング用のソフトがなくても、教科書と完全に同じ題材で、楽しく手軽にプログラミングを体験できます。

※プログラミング教材は、必要な画面の広さの問題もあり、スマートフォンには対応させておりません。
パソコンやタブレットでご利用ください。
<https://k-qr.com/0m5a23601>

▶ 詳細は p.17に

2下表紙 掲載
「数をくらべよう」
アニメーション動画コンテンツ

表紙のイラストの世界にどんな算数の題材が隠れているのかを、可愛いアニメーションで紹介しています。

▶ 詳細は 裏表紙に

1 板書やノートで、学びが見える授業開き

知・技
思・判・表
態度

2～6年巻頭「学びのナビゲーション」

- 教科書の使い方
- 学習の進め方
- わくわく算数学習
- わくわく算数ノート

板書と連動した学習の進め方で、児童も教師も授業のイメージが持てます。

毎日の学習や身のまわりの事柄との学びのつながりのたいせつさを示しました。

学しゅうの すすめ方

どんな もんだいかな → 自分で 考えよう → みんなで 話しあおう → たしかめよう ふりかえろう

学びの めばえ

学びを つなげよう

算数では、答えをもとめるだけでなく、

- ・毎日の学しゅうのつながり
- ・身のまわりのことがらとのつながりを考えることがたいせつです。

おかしを2つ買います。何円になるのかな？

54円のラムネと38円のキャラメル

しき $54 + 38 = 92$ 92円

54円のラムネと72円のチョコレート

しき $54 + 72 = 126$ 126円より高い。

答えが100をこえるひっ算のしかたを覚えていこう。

1 $54 + 72$ のひっ算のしかたを考えよう。

54
+72

92

・一ののくりにくり上がりがあるとき、同じように考えたらいい。

2 $86 + 23$

③ ① $54 + 82$ ② $83 + 76$ ③ $94 + 51$

④ $30 + 98$ ⑤ $65 + 70$

④ $13 + 95$ ② $34 + 72$ ③ $53 + 54$

④ $72 + 30$ ⑤ $40 + 65$

どんな もんだいかな

前の学しゅうとちがうところは……

自分で考えよう

学んだことをつけて考えよう

みんなで話しあおう

自分の考えとにているところは……

たしかめよう ふりかえろう

少しちがうもんだいけど、同じようにすれば……

- もんだいをしらべよう。
 - ・もとめることやわかっていいることをはっきりさせる。
 - ・これまでの学しゅうや身のまわりのことがらとつなげて考える。
- 学しゅうのめあてをもちましよう。
 - ・どんなめあてかを考え、話しあおう。
- 見通しをもって考えよう。
 - ・ならったことをつけて考えてみる。
- 考えたことをわかりやすくかきましよう。
 - ・や、|をつけて考えてみる。
 - ・図やしきに書いてみる。
- わかりやすくはっぴようしましよう。
- 自分の考えとにているところやちがうところをみつけましよう。
- わかったことをまともましよう。
- ほかのもんだいでもためしてましよう。
- わかったことやできるようになったこと、もっとやってみよう。
 - ・学しゅうで気づいたぎもんや身のまわりのことがらとつなげて考える。

子どもたちの発言で問題解決学習の流れを紹介しています。

2年上 p.4～5 「学習の進め方」

各学年 第1時には学び方のフローとノート例を設けました。

(わくわく算数学習・わくわく算数ノート)

題材には、前学年の既習事項からつなげて考えられるものを選んでいきます。

問題解決学習の流れを、紙面の左端に帯で示しています。

わくわく算数学習に対応したノート例です。

みんなて つくろう わくわく算数学習しゅう

何十を たしたり ひいたり する 計算

1 いちごがりに いきました。あおいさんは 36こ、そうたさんは 20この いちごを とりました。あわせると 何こ になりますか。

あわせた いちごの数を もとめる もんだいです。

あわせるので、たし算になります。しきは……

しき $36 + 20 =$ こ

めあて $36 + 20$ の計算のしかたを 考えよう。

2 10 や 10 を つかって、計算のしかたを 考えましよう。

あわせた 10 の数を あわせると……

3 ① $13 + 80$ ② $51 + 30$ ③ $79 - 10$ ④ $93 - 70$

何十を たしたり ひいたり する 計算は、何十の ところを 考えれば かんたんに できます。

ノートの つくり方は つぎの ページに あります。

算数しりょうしゅう わかりやすく せつめいしゅう 友だちの 考えを よく 聞こう 136ページ 7

2年上 p.6～7 「わくわく算数学習」

考えがよく わかる わくわく算数ノート

ノートには、

- ・学しゅうした日づけ
- ・もんだい
- ・学しゅうのめあて
- ・自分の考え
- ・友だちの考え
- ・学しゅうのまとめ
- ・ふりかえり

などを かきましよう。

見やすいように くふうして いるね。

4月10日

1 いちごがりに いきました。あおいさんは 36こ、そうたさんは 20この いちごを とりました。あわせると 何こ になりますか。

(しき) $36 + 20$

めあて $36 + 20$ の計算のしかたを 考えよう。

自分の考え

10の数をあわせると、10が5こ、あと、10が6こで56になる。

2 $36 - 20 = 16$ 16こ

3 ① $13 + 80 = 93$ ② $51 + 30 = 81$ ③ $79 - 10 = 69$ ④ $93 - 70 = 23$

ふりかえり何十をたしたりひいたりする計算は、何十のところを考えればかんたんにできます。

友だちの考えを聞いて、気づいたことがかかれてるね。

学しゅうをふりかえって、わかったことやできるように、なつたことをかきましよう。

わかっていいることをかきようにしていきます。

まちがえてもけさないようにしていきます。

3 ① $13 + 80 = 93$ ② $51 + 30 = 81$ ③ $79 - 10 = 69$ ④ $93 - 70 = 23$

ふりかえり $36 + 20$ や $36 - 20$ の計算のように $36 + 26$ や $36 - 26$ の計算もしてましよう。

2年上 p.8～9 「わくわく算数ノート」

② 新1年生が安心して学べるスタートカリキュラム

知・技
思・判・表
態度

1年巻頭「わくわくすたあと」

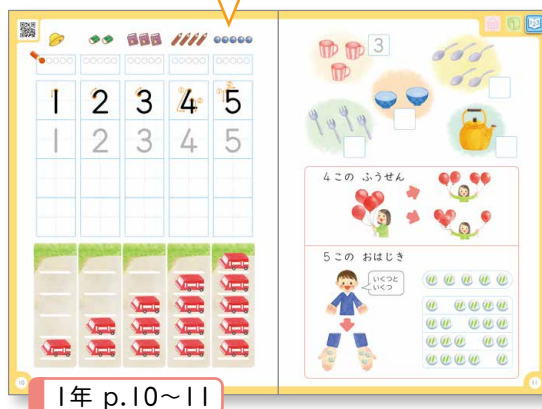
スタートカリキュラムに対応し、入学当初の紙面を3段階に分けています。

-  あそびが つながる うれしいな …… 幼児期の体験を思い出し、算数の素地につなげる (p.0~1)
-  どきどき がっこう …… 小学校算数の導入部分として、期待感を高める (p.2~7)
-  かずと すうじ …… 生活場面をもとに、徐々に算数の学習に慣れる (p.8~17)

算数の学習はゼロからのスタートではなく、幼児期の体験がつながっています。
子どもたちが **安心して学校生活をスタート** できるように、
内容も用紙も工夫しました。



書き込んだり消したりしやすいように、「わくわく すたあと」の部分は特別な用紙を使用しています。



作業の様子を示す写真を多く掲載し、授業の流れをわかりやすくしました。

わくわく すたあと

紹介動画は
こちら！



③ 毎単元使えるレディネスチェック

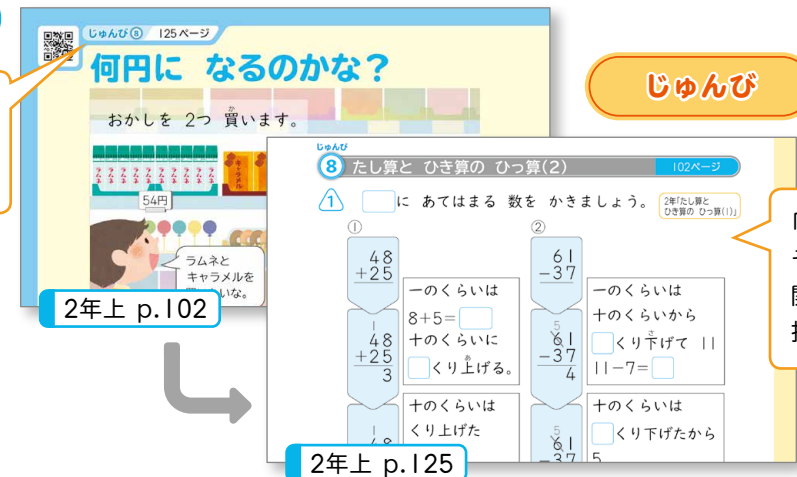
知・技
思・判・表
態度

巻末「じゅんび」

「じゅんび」は基本的に **全ての単元** に設け、**QRコンテンツ** も用意しました。

単元とびら

単元とびらの左上に
巻末の問題へのリンク
を設けています。



じゅんび

「じゅんび」では、
その単元の学習に
関する既習事項を
扱っています。

家庭学習に便利！

じゅんびのQRコンテンツ

コンテンツは
こちらから
チェック！



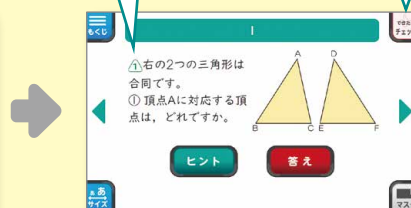
表示された
問題を
解きます。

問題が解けたら、
タップして、「できた」に
チェックを入れます。

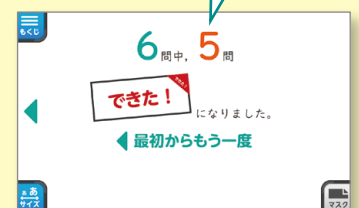
1単元分の問題を解き
終わると、自己採点の
結果が表示されます。



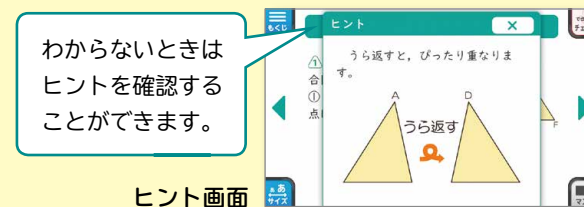
初期画面



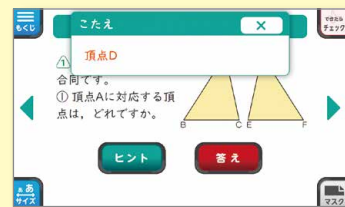
カード画面(複数枚)



最終画面



ヒント画面



答え画面

4 主体的に取り組める毎日の学習

知・技
思・判・表
態度

- 単元とびら
- 学びのめばえ
- めあて
- まとめ

新しい学習を始めるときに、既習事項や日常の問題から
学びをつなげていけるように、**単元とびら**を設定しました。

単元名から始めるのではなく、
実際の授業のように、問いかけや
場面の説明を最初に示しています。

既習事項
↓
学びのめばえ
↓
単元のめあて

102

2年上 p.102~103

「みんなで学ぼう」には、
この単元で学ぶことの
めあてを示しています。

めあてを全ての時間に例示し、めあてにつながる
子どもたちの主体的な考えや気づき（見通し、課題発見）を
学びのめばえ マークで強調しました。

問題
↓
学びのめばえ
↓
本時のめあて

86

5年 p.86~87

78

3年上 p.78~79

まとめを記載して
いる箇所は、
めあてとの対応も
大切にしています。

時間の最後に
出てくる
学びのめばえは、
次時への学びの
つながりを
示しています。

5 問題解決のプロセスが見える思考法単元

知・技
思・判・表
態

- 図を使って考えよう
- 表を使って考えよう

子どもたちの **思考力を育む思考法単元** についても、一般の単元と同じように「学びのめばえ」や「めあて」を設けて、**扱いやすく**しました。

板書やノート例も掲載して、図のかき方を丁寧に扱っています。

図を使って考えよう

はじめはいくつ

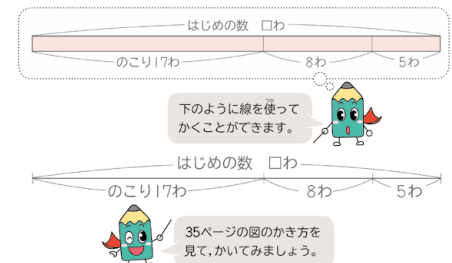
- 1 広場に、はとがいました。そのうちの5わがとんでいきました。また、8わとんでいったので、のこりは17わになりました。はじめ、はとは何わいましたか。



図にかいてみると……

めあて 図にかいて、はじめの数のもとめ方を考えよう。

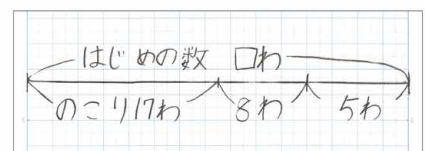
2 図にかいてみましょう。



考え方のプロセスを丁寧に示すことで、子どもたちの理解を深めます。

図のかき方

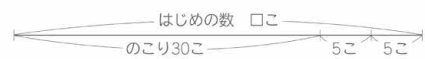
- ① はじめの数は□わ
- ② 5わとんでいった
- ③ 8わとんでいった
- ④ のこりは17わ



1 図を見て考えましょう。

のこりの17わに、とんでいったはとの数をたすと、はじめの数になります。

- 2 おばさんがみかんを送ってくれました。5こずつ2人の友だちにあげたら、のこりは30こになりました。はじめ、みかんは何こありましたか。



3年上 p.34~35

タイトルも見直し、**学習の目的がよりわかりやすい**ように工夫しました。

図をつかって考えよう(3)



- 1 赤組と白組でとく点をきそっています。赤組は、白組より4点多いそうです。赤組は15点です。白組は何点ですか。

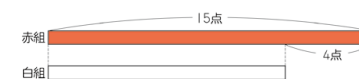
赤組と白組はどちらのとく点が多いかな。

図をつかってみると……

めあて 図をつかって、どちらが多いかを考えよう。

子どもキャラの発言を加え、着目すべきポイントをわかりやすくしました。

2 図を見て考えましょう。



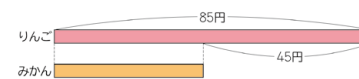
図を2本つかうと、ちがいがよくわかります。

3 図をつかってせつめいしましょう。

図から、白組は赤組より4点少ないことがわかるから……

しき □ = □ 点

- 2 りんごとみかんを買います。りんごは、みかんより45円高いそうです。りんごは85円です。みかんは何円ですか。



2年下 p.58~59

表を使って考えよう



なかまに分けて

- 1 東町の人25人と、西町の人23人で、ハイキングに行きます。昼食で食べたい果物のアンケートをとると、下のようになります。

果物	みかんを選んだ人	30人
パナナ	選んだ人	18人

このうち、東町でみかんを選んだ人は、17人でした。西町でみかんを選んだ人は、何人ですか。また、東町、西町でパナナを選んだ人は、それぞれ何人ですか。

東にまてみる	西にまてみる	合計
みかん	パナナ	
合計	合計	

めあて 2つのことがらを表に整理して調べよう。

途中段階の図や表も積極的に掲載しています。

昼食で食べたい果物調べ (人)	みかん	パナナ	合計
東町	17	8	25
西町	11	12	23
合計	28	20	48

かいた表が正しいかどうかたしかめてみましょう。

みかんを選んだ30人のうち、東町の人17人だから、西町の人13人は……

東町の人25人のうち、みかんを選んだ人17人だから、パナナを選んだ人は……

- 2 東町の人25人について、べんとうと飲み物の注文をきくと、下のようになります。

おにぎりを選んだ人……12人
お茶を選んだ人……8人
おにぎりとお茶を選んだ人……5人

おにぎりを選んでお茶を選んでいる人、お茶を選んでおにぎりを選んでいない人、おにぎりもお茶も選んでいない人は、それぞれ何人ですか。

おにぎり	お茶	合計
選んだ	選んだ	
選んでいない	選んでいない	
合計	合計	

4年下 p.70~71

6 個にあわせた学びが実現できる巻末オプション

知・技
思・判・表
態度

2～6年巻末「学びのサポート」

- じゅんぴ
- もっと練習
- 算数資料集

▶「じゅんぴ」はこの冊子のp.9に掲載

「もっと練習」は2段階の問題を設定し、**習熟度別学習にも対応**しています。

本文

もっと練習

3年下 p.7

円の中心を通って、まわりからまわりまでひいた直線を円の直径といいます。



直径は半径の2倍です。直径は、円の中にひいた直線のうちで、いちばん長い直線です。

直径は円をちょうど半分に分けています。



6 円の形をした紙の中心のみつつけ方を考えましょう。



紙をおってみつつけましょう。



本文の下部に問題へのリンクを設けています。

もっと練習 ▶ 120ページ

3年下 p.120

もっと練習

11 円と球

7ページ

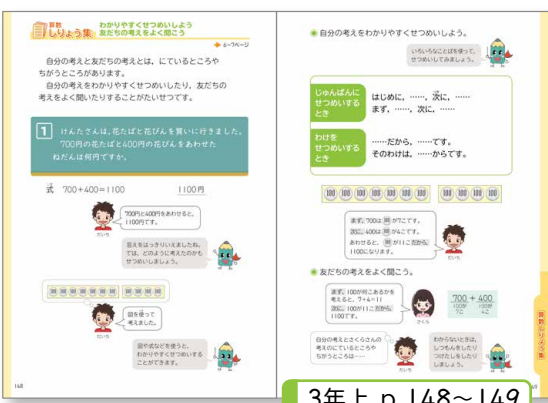
1 右の円の半径は何cmですか。また、直径は何cmですか。

2 右の図のように、直径が18cmの大きい円の中に、同じ大きさの小さい円が3つ並びはいつています。小さい円の半径は何cmですか。

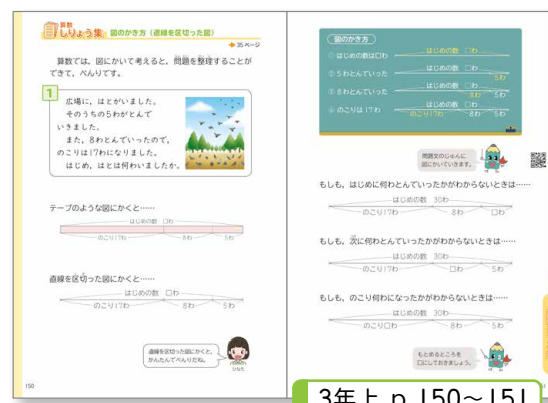


答え 132ページ

「算数資料集」には、**説明の仕方**や**図のかき方**など、必要に応じて確認したい大切な情報が、まとめて収録されています。



3年上 p.148～149



3年上 p.150～151

7 学びがより深まる単元の出口

知・技
思・判・表
態度

- 自分の力で

単元末「学びのまとめ」

- たしかめよう
- ふりかえろう
- やってみよう

一部の単元では、単元の終盤に「**自分の力で**」というコーナーを設け、既習事項をもとに**主体的に新たな学びに向かう**姿勢が育めるようにしました。

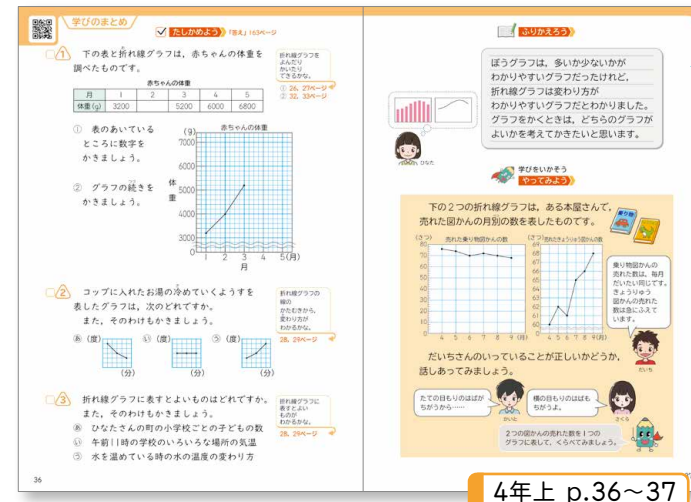
子ども自身の「学びのめばえ」から始まる紙面です。



2年下 p.31

「学びのまとめ」は基本的に、**学びを深める3ステップ**で構成されています。

学びのまとめ
たしかめよう
ふりかえろう
やってみよう



4年上 p.36～37

「ふりかえろう」では、単元全体をふりかえって統合的・発展的に学びを深めていく子どもの姿を示しました。

⑧ 学びがいきて身につく活用ページ

知・技
思・判・表
態度

わくわく算数ひろば

- どんな計算になるのかな
- 買えますか？買えませんか？
- 見積もりを使って
- みらいへのつばさ
- 算数の自由研究
- 算数ラボ
- 等

学期末に「わくわく算数ひろば」を設定し、従来は学期途中にバラバラに登場していた活用単元を **学期末にまとめ**、学習内容の定着を図りました。

4年下 p.54~55

学びをいかそう **わくわく算数ひろば**

見積もりを使って まとまりをつくら

1 クラスで、7つのグループに分かれて空きかん集めをしました。それぞれのグループが集めたかんのこ数は、下の表のようでした。

グループ	A	B	C	D	E	F	G
かんのこ数	61	39	54	45	98	73	33

集めたかんのこ数の合計は

めあて まとまりをつくら考えてよう。

2

4年下 p.56~57

学びをいかそう **わくわく算数ひろば**

どんな計算になるのかな

1 明石海峡大橋の主塔の高さは、およそ300mです。主塔の高さは、けた下の高さのおよそ5倍です。けた下の高さは、およそ何mですか。

2 式にかいて、答えを求めましょう。

式 $\square = \square \square \text{ m}$

3 $300 \div 5$ の式になるわけをききましょう。

300 ÷ 5 になるわけは、けた下の高さの5倍が300mなので、300mを5で $\square$ と、けた下の高さになるからです。

2 明石海峡大橋のいちばん太いケーブルは、127本のワイヤーを1つの束にして、それが290束でできています。このケーブルには、何本のワイヤーが使われていますか。

式 $\square = \square \square \square \text{ 本}$

3 56ページの明石海峡大橋を横から見た図を見て、明石海峡大橋の長さを求めましょう。

わくわく算数ひろばも、通常の単元と同様に、めばえやめあてを記載しています。

プログラミングは、5・6年生の算数ラボを中心に扱っています。

各学校のICTの利用状況に応じて、**選べるコンテンツ**をご用意しています。

236

学びをいかそう **わくわく算数ひろば**

算数ラボ

コンピュータやロボットは、いろいろな命令を組み合わせて動かします。命令の組み合わせのことをプログラムといいます。

1 右のような命令を組み合わせて、301ページの正多角形の辺にそって、**えんぴつくん**を動かすときのプログラムをつくってみましょう。

命令

まっすぐに $\square$ cm進む

左に $\square^\circ$ 回る

ミッション1 命令は、次のように実行されます。

えんぴつくん

まっすぐに $\square$ cm進む

左に $\square^\circ$ 回る

めあて 図形をかくプログラムをつくろう。

ミッション2 正方形の辺にそって動かすプログラムをつくってみましょう。

237

5年 p.236~237

まっすぐに $\square$ cm進む

左に $\square^\circ$ 回る

くりかえす

この位置からはじめます。くりかえして、はじめのときと同じになったら繰り返します。

はじめて

くりかえす

繰り返す

ミッション3 正三角形の辺にそって動かすプログラムをつくってみましょう。

えんぴつくん

60° 回すと

120° になるんだね。

ミッション4 正五角形や正六角形の辺にそって動かすプログラムをつくってみましょう。

正多角形	正三角形	正方形	正五角形	正六角形
回す角の大きさ(°)	120	90		

回す角の大きさには、きまりがあるのかな。

選べるコンテンツ

- ①巻末付録
- ②オリジナルのプログラムコンテンツ
- ③Scratch

▼オリジナルのプログラムコンテンツの画面

図形見本: なし

結果を保存

はじめにむす

命令

まっすぐに $\square$ cm進む

左に $\square^\circ$ 回る

赤線を $\square$ cm引く

くりかえす

プログラム1 はじめから ▶

赤線を $\square$ cm引く

左に $\square^\circ$ 回る

くりかえす

青線を $\square$ cm引く

左に $\square^\circ$ 回る

くりかえす

+(新しくつくる)

コンテンツはこちらからチェック! ▶

※プログラミング教材は、必要な画面の広さの問題もあり、スマートフォンには対応させておりません。パソコンやタブレットでご利用ください。

プログラミング的思考について意識していただきたい箇所に、Pマークをつけています。

まなびをいかそう **もののいち**

1 たからさがしをしましょう。

たからさは、みぎに2つ、うえに1つ、すんだところにある。

2 いろいろないいかたで、1のようにたからさがしをしてみましょう。

みぎから ひだりに1つ、うえから3ばんめ

1年 p.127

9 つまずきに対応した復習・学年の総復習

● 復習 ● もうすぐ〇年生

知・技
思・判・表
態度

全国学力調査などで正答率の低かった問題を扱い、

★マークをつけることで、意識して取り組めるようにしました。

復習

数と計算

△ ① にはあてはまる数をかきましよう。

① 2と0.01と0.007をあわせた数は、です。

② 3.481は、0.001を個集めた数です。

③ 8.2の100倍の数は、です。

④ 0.47の $\frac{1}{100}$ の数は、です。

5年 「小数と小数」

△ ① 0.3×0.4 ② 0.2×0.5 ③ 0.06×0.7

④ $\frac{1.8}{\times 0.84}$ ⑤ $\frac{0.37}{\times 0.18}$ ⑥ $\frac{0.92}{\times 6.5}$

5年 「小数のかけ算」

△ ① 0.56÷0.8 ② 4.2÷0.07 ③ 0.03÷0.06

④ $4.3\overline{)9.89}$ ⑤ $1.6\overline{)3}$ ⑥ $5.12\overline{)3.2}$

5年 「小数のわり算」

△ ① ②のへちまの高さは、ヘチマの高さ

③のへちまの高さは、何倍になっていますか。

5年 「図形のわり算」

△ ① たいきさんの身長は144cmで、弟の身長は1.2倍だそうです。

弟の身長は何cmですか。

5年 「小数のわり算」

△ ① 計算のきまりを使って、くふうして計算しましよう。

① $16+39+84$ ② 25×16

③ 999×9 ④ 1.1×7.56

⑤ $4.8\times 2.5\times 4$ ⑥ $4.7\times 0.6+5.3\times 0.6$

5年 「小数のかけ算」

図形

△ 次のような図形の体積を求めましよう。

① たて7cm、横5cm、高さ3cmの直方体の体積

② 1辺8mの立方体の体積

5年 「体積」

△ 次のあから②の角の大きさを求めましよう。

5年 「合同な図形」

△ 次の表は、あおいさんのクラスで一輪車に乗れるかどうかを調べたものです。

① 表を完成させましよう。

② 男子と女子では、どちらのほうが一輪車に乗れる人が多いですか。

4年 「調べたことと整理のしかた」

5年 「データの活用」

領域で3分割することにより、モジュール型学習にも対応しています。

5年 p.98~99

もうすぐ4年生

数と計算

△ 次の数を数字でかきましよう。

① 1000万を7こ、10万を4こ、1万を9こあわせた数

② $\frac{1}{5}$ を5こ集めた数 ③ 0.1を8こ集めた数

5600000は、1万を何こ集めた数ですか。また、1000を何こ集めた数ですか。

△ 次の数を10倍した数をかきましよう。また、10でわった数をかきましよう。

① 4500 ② 79000

△ ①、②にあてはまる数をかきましよう。

20000 30000 ③ 40000 50000

6000万 ④ 6020万

△ 次の数を数直線の上に表しましよう。

① 1.9 ② $\frac{2}{10}$ ③ $\frac{8}{10}$ ④ 0.5 ⑤ 3.4

0 1 2 3 4

△ 筆算でしましよう。

① $174+263$ ② $345+387$ ③ $469+726$

④ $452-218$ ⑤ $624-192$ ⑥ $836-347$

△ ① 73×3 ② 68×7 ③ 314×6 ④ 804×5

⑤ 13×42 ⑥ 18×96 ⑦ 256×64 ⑧ 970×29

△ ① $\frac{7}{10}+\frac{2}{10}$ ② $\frac{5}{8}+\frac{3}{8}$ ③ $\frac{5}{9}-\frac{2}{9}$ ④ $1-\frac{3}{4}$

△ ① $0.4+0.5$ ② $4.3+0.8$ ③ $0.9-0.5$ ④ $2.3-0.7$

△ ① $24\div 6$ ② $14\div 7$ ③ $16\div 2$ ④ $7\div 1$

⑤ $15\div 4$ ⑥ $47\div 9$ ⑦ $44\div 5$ ⑧ $57\div 8$

△ にはあてはまる数をかきましよう。

① $(24-4)\times 5=(24\times \text{□})-(4\times \text{□})$

② $(100\times 9)-(3\times 9)=(\text{□}\times \text{□})\times 9$

③ $105\times 6=(\text{□}+5)\times 6$

△ 52まいのカードがあります。1人に8まいずつくばります。何人に分かれて、何まいあまりですか。

△ 4つのチームに分かれてゲームをします。どのチームも同じ人数で、みんなで36人です。

① 1チームの人数を□人として、式にかきましよう。

② 1チームの人数をもとめましよう。

チェックボックスを使って達成度を自己評価することもできます。

3年下 p.110~111

10 社会への活用を実感できる6年の学年末

6年 学年末「ひろがる算数」

知・技
思・判・表
態度

キャリア教育の一環として、算数が様々な職業につながっていることが実感できる内容を紹介しています。

社会で活躍される5名の方にインタビューを行い、今のお仕事に算数がどのように活かしているか教えていただきました。

アーティスト
野老 朝雄さん

ピアニスト
中島 さち子さん

スポーツデータの収集・活用
岡田 昇峰さん

古生物学者
佐藤 たまきさん

パティシエ
小山 進さん

6年 p.244

ひろがる算数

パティシエ
小山 進さんに聞く
おかし × 算数

みなさんは、おかしをつくったことがありますか。おかしづくりには、算数で学習したことをたくさん使います。

おいしいおかしをつくるためには、手早さ、ていねいさ、正確さがたいせつです。そのために、レシピには、材料の分量、焼く時間や温度などが正確な数でかかれています。

重さをはかりながらおかしをつくるようす

きまった時間と温度でおかしを焼くようす

新しいおかしは、どのようにして生まれるのですか？

わたしのお店には、例えば道で出会った花の香りや、子どものころに好きだったごん虫の色をヒントにして生まれたおかしがあります。

新しい味を生み続けるには、日常でいろいろなことに興味を持ち、「なぜだろう」と探求する気持ちがたいせつです。

たくさんのおかしをつくるのに、どんなふうをしていますか？

新しいおかしは、たくさんつくる前に、まず少量で試作します。そのときには、レシピに分量などを正確に記録します。

例えばその分量を10倍にすると、10倍の数のおかしができますが、たくさんつくったときにもおいしさが変わらないように、さまざまな調整をくりかえします。

とり上げたテーマは、アート・音楽・スポーツ・化石・お菓子の5つです。

6年 p.236

ひろがる算数

アーティスト
野老 朝雄さんに聞く
アート × 算数

みなさんは、どんな美しいものと出会ったことがありますか。美しいものには、算数や数学がかくれていることがあります。

わたしは、紋様をテーマとして作品をつくっています。東京2020オリンピック・パラリンピックのエンブレムもその1つで、世界のいろいろな人がつながることを表現した作品です。

下の作品は「人」という漢字でつくった、熊本地震の仮設住宅支援プロジェクトKASEIで使われたものです。この作品も人とのつながりを表現したものです。

人

KASEI

九州建築学生仮設住宅環境改善プロジェクト(KASEI)

紋様は、どのようにしてつくっているのですか？

算数の学習で、しきつめようをつくったことがあると思います。それに似ています。しきつめられる形が1つみつくと、その形を変形したり、その形の中にちがう形をいかたりして、さまざまに発展させることができます。

しきつめる形そのものの美しさや、美しく見える並べ方には数学が関わっています。

東京2020エンブレムには、どんなふうがありますか？

エンブレムをよく見ると、2種類の長方形と1種類の正方形がたくさん並んでいます。その長方形と正方形は、それぞれ、2種類のひし形と1種類の正方形の中にかいた形です。それを、大きな正十二角形の中にしきつめることで、エンブレムのような紋様がうまれます。

このように、数学的な見方や考え方をを使って、美しさを追究しています。

インタビュー動画はこちらからチェック！



統計的な問題解決力の育成を目指して

統計の学習を通して
身につけたい
2つの力

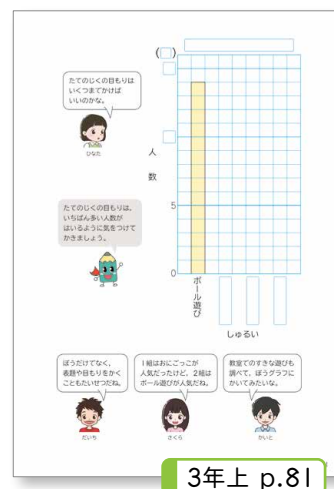
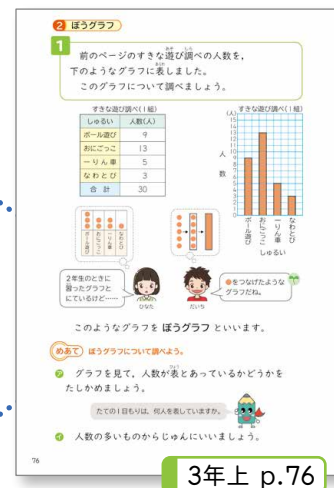
目的に応じてデータを集め、
表やグラフを使って
分かりやすく
適切に表現する力

表やグラフといった
統計データから、
特徴を読みとって
結論を考察する力

統計的な問題解決のプロセス（PPDAC）を意識した紙面構成で、
自然にPPDACのプロセスに沿って学習に取り組めるようにしています。



子どもたちが話し合うイラスト
から導入して、課題意識を持ち
やすくしています。



グラフのよみかきなど基本的な事項を
学習しながら、自然にPPDACプロセス
に触れられるように構成しています。



各学年での統計の扱い

1年「8. かずしらべ」(p.62～63)

絵グラフ

ものの個数について、大きさをそろえた簡単な絵や図を用いて
表したりよみとったりして、特徴を捉えます。

2年「1. ひょうと グラフ」(上p.10～15)

簡単な表、グラフ

観点を決めてデータを分類整理して簡単な表やグラフに表し、
データの特徴を捉えたり、考察したりします。

3年「6. 表とグラフ」(上p.74～89)

一次元表、二次元表
棒グラフ

観点を決めてデータを分類整理して表や棒グラフに表し、
データの特徴を捉えて考察し、見いだしたことを伝えます。

4年「2. 折れ線グラフ」(上p.26～37) 「13. 調べ方と整理のしかた」(下p.60～69)

折れ線グラフ
二次元表

目的に応じてデータを集めて分類整理し、特徴や傾向を表すのに
適切な表やグラフを選択して判断し、その結論について考察します。

5年「15. 割合のグラフ」(p.200～209)

円グラフ、帯グラフ

目的に応じたデータの収集と分類整理、特徴や傾向を表すのに
適切な表やグラフの選択といった一連の統計的な問題解決を行い、
結論について多面的に捉え考察します。

6年「6. 資料の調べ方」(p.72～87)

ドットプロット、代表値
度数分布表、ヒストグラム

目的に応じたデータの収集と分類整理、特徴や傾向を表すのに適切
な表・グラフ・代表値の選択といった一連の統計的な問題解決を
行い、結論を判断してその妥当性について批判的に考察します。

※多くの内容を1学期に配当し、夏休みの自由研究などで活用できるようにしています。

様々な団体の主催で、統計を活用した作品を発表する機会が設けられています。
ぜひご活用ください。

●統計グラフ全国コンクール

〈主催：公益財団法人統計情報研究開発センター〉

各都道府県で審査が行われ、優秀作品は全国大会に出品されます。

<http://www.sinfonica.or.jp/>



●塩野直道記念 算数・数学の自由研究 作品コンクール

〈主催：一般財団法人理数教育研究所〉

テーマは統計に限りませんが、統計やグラフを活用した作品も多く入賞しています。
(過去の入賞作品例：『「ちょっと」ってどれくらい?』『メロスの全力を検証』など)

<http://www.rimse.or.jp/research/>



割合のつまずきを解消することを目指して

割合の系統 におけるポイント

- ✗ 「いつも出てきた順にかけたりわったりしてしまう」
→ 第3学年から「aのb倍がc」という倍関係を基本にした系統的な学習を組み立てています。
- ✗ 「いつも大きいほうの数を小さいほうの数でわってしまう」
→ 第5学年では1より小さい小数の乗除におけるつまずきの解消を図りました。(→p34)

数量の倍関係(問題の文脈)を正しく把握する技能 が身につくように
割合の系統を組み立て直し、各学年の紙面展開も見直しました。

今回、割合の3つの用法を1つの
単元にまとめ、関係図のかき方を
丁寧に扱いました。

第1用法

- 割合を求める
- aの□倍がc ... $c \div a = \square$

第2用法

- 比べる量を求める
- aのb倍が□ ... $a \times b = \square$

第3用法

- もとにする量を求める
- □のb倍がc ... $c \div b = \square$

ことばや図を用いて
倍関係を丁寧にとらえ
なおしています。

12 何倍でしょう

① 何倍でしょう
ゴムで動く車の走った長さをくらべました。
赤は4m、青は8m走りました。
赤の走った長さが、青の走った長さの何倍ですか。

② 図のかき方
① 赤の走った長さの□倍が青の走った長さになることに目をつけて、図をかく。
② わかっている数をかく。

③ ふくろには6こ、かんには30このあめがはいっています。
かんのあめの数は、ふくろのあめの数の何倍ですか。
図にかいて考えましょう。

3年下 p.14~15

3 何倍でしょう

① パケツで水を運んで水をいっぱいになります。
8回運んで、48Lの水がはいりました。
パケツには、何Lの水がはいりますか。

② 図のかき方
① パケツには水のかさの8倍が水そうにはいる水のかさになることに目をつけて、図をかく。
② わかっている数をかく、わからない数は□にしておく。

③ ロールケーキがあります。
3cmずつ切ると、切ったケーキはちょうどどこまでききました。
はじめのケーキの長さは何cmでしたか。
図にかいて考えましょう。

3年下 p.16~17

各学年での割合の扱い

3年「12. 何倍でしょう」(下p.14~19)

- 整数の場合の3つの用法
 - 3要素2段階の順思考の問題
- 「4の□倍が8」「□の8倍が48」といった整数の範囲について、第1, 2, 3用法を学習します。

4年「8. 割合」(上p.118~123)

- 整数の場合の3つの用法
 - 3要素2段階の逆思考の問題
- 3年生と同じ整数の範囲で「割合」という用語を導入して、第1, 2, 3用法を学習します。(新設)

4年「12. 小数のかけ算やわり算」(下p.50~51)

- 小数の場合の第1用法
- 「10の□倍が12」といった割合を表す数が小数になるときについて、第1用法のみを学習します。

5年「4. 小数のかけ算」(p.48~49) 「5. 小数のわり算」(p.64~67)

- 小数の場合の3つの用法
 - 3要素2段階の順思考の問題
- 「20の1.6倍が□」「□の0.4倍が60」といった小数の範囲について、第1, 2, 3用法を学習します。

5年「13. 割合」(p.172~183)

- 割合の3つの用法
 - 割合が増減する問題
- 割合の第1, 2, 3用法、全体と部分の関係、百分率や歩合について学習します。

5年「15. 割合のグラフ」(p.200~209)

- 円グラフ、帯グラフ
- 割合を求めて、グラフに表すことを学習します。

6年「わくわく算数学習」(p.6~7)

- 割合が増減する問題の復習
- 割合の復習となる問題を巻頭で扱っています。

6年「4. 分数×分数」(p.52~53) 「5. 分数÷分数」(p.67~69)

- 分数の場合の3つの用法
- 第1, 2, 3用法を、分数の範囲に広げて学習します。

※第5学年では、割合の内容を各学期に配置し、繰り返し習熟を図れるようにしています。

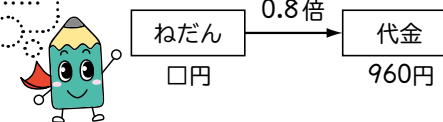
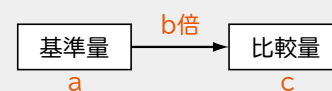
関係図はどのような図ですか？

関係図は、問題の文脈にそって

左に「基準量」、真ん中に「割合」、右に「比較量」
aの b倍が c
を書き表したものです。

関係図は、数量の倍関係を把握するとともに、
整数でも小数でも同じように演算を正しく判断
することができるよう導入しています。

左側が□のときは
わり算だから……



演算決定に関わる図の系統

テープ図・線分図, 数直線図, 関係図

1年

基礎操作(加法・減法)

① $6+7$ のしきになる わけを いいましょう。

6+7 になる わけは、はじめ 6人 いて、あとから 7人 やって きて、ふえるからです。

1年 p.148

たいき 5こ
こはる 3こ

3こ おおい

1年 p.156

2年

テープ図(加法・減法)

ふくろうの あめ 12こ
ばらの あめ 5こ

ぜんぶの 数 □こ

2年上 p.64

赤組 15点
白組 4点

2年下 p.59

3年

線分図(加法・減法)

図にかいてみましょう。

はじめの数 □わ
のこり17わ
8わ
5わ

3年上 p.34

線分図(乗法・除法)

□こ
36こ

図にかいて考えると、
□は36を同じ数ずつ
3つに分けた数だから、
□ = $36 \div 3$
□ = 12 12こ

3年下 p.97

関係図(割合の素地)

下の図を見て、どんな計算になるかを考えましょう。

赤 □倍 青 8m
4mの何倍かをとめることは、
4mの何倍かを8mでわります。

3年下 p.14

黄は、赤の何倍走ったかを考えましょう。

赤 4m 青 2倍 黄 8m
4mの何倍かをとめることは、
4mの何倍かを8mでわります。

3年下 p.18

4年

線分図(乗法・除法)

図を使って、あまりの大きさを求めましょう。

3m 13.6m
あまり
本とれて、□mあまる。

4年下 p.46

関係図・数直線テープ図(割合)

イルカ
□倍
もとの体長 1m
いまの体長 4m

いまの体長 6m
もとの体長 3m

4年上 p.119

関係図(割合の素地)

学校 2倍 百貨店 3倍 テレビとう 90m
□m

4年上 p.122

関係図・数直線図(乗法・除法)

6mのリボンを3人で分けると、1人分の長さは何mになりますか。

1人分の長さ □m
全体の長さ 6m
3でわります

4年下 p.40

0.6は □

4年下 p.41

5年

線分図(相殺・置換)

おとな 子ども
32人

子どもは、おとなの数の3倍だから、同じものは

5年 p.125

関係図・線分図(割合)

0.75 1 0.75倍
定員 8人 希望者 6人

式 $8 \times 0.75 = 6$

5年 p.177

関係図・数直線テープ図(割合)

白のリボンの1.6倍の長さになっているのは、黄のリボンです。

白 16cm 黄 24cm
0 20cm 1.6 (倍) 32cm

5年 p.48

全体 2000㎡
0.4倍 広場 0.8倍 しばふ □㎡

全体の面積の(0.4×0.8)倍が
しばふの面積です。

5年 p.68

関係図・数直線図(乗法・除法)

資料集 図のかき方(数直線図, 関係図) → 38, 56ページ

算数では、問題にある数量の関係を図に表すと考えやすくなります。

1 1mの重さが3kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼう0.8mの重さは何kgですか。

この問題は、次のような図に表すことができます。

数直線図

① 長さ(m)を表す数直線と重さ(kg)を表す数直線をかく。

② 1mの重さが3kgであることをかく。

③ 0.8mの重さが何kgとすることをかく。

関係図

① 1mの重さが3kgで

5年 p.284

6年

線分図(割合)

Aのじゃりで1分間に入られる水の量は、水そう全体のどれだけにあたりますか。

水そう全体 10分
A 1分

6年 p.198

関係図・線分図(割合)

テープ全体 2m
色の部分 $\frac{3}{4}$ m

式 $2 \times \frac{3}{4} = \frac{3}{2}$

6年 p.69

関係図・数直線テープ図(割合)

白のリボンの $\frac{2}{3}$ 倍の長さになっているのは、青のリボンです。

白 16cm 青 24cm
0 20cm 2 (倍) 32cm

6年 p.52

まいさんの学校のしき地は4000㎡あります。しき地の $\frac{3}{5}$ が校庭で、校庭の $\frac{1}{2}$ が花だんです。花だんの面積は何㎡ですか。

6年 p.226

関係図・数直線図(乗法・除法)

資料集 図のかき方(数直線図, 関係図) → 45, 61ページ

算数では、問題にある数量の関係を図に表すと考えやすくなります。

4 1.5Lで $\frac{4}{5}$ Lぬれるペンキがあります。このペンキ $\frac{2}{3}$ Lでぬれる面積は何㎡ですか。

この問題は、次のような図に表すことができます。

数直線図

① 長さ(L)を表す数直線と面積(㎡)を表す数直線をかく。

② 1.5Lでぬれる面積が $\frac{4}{5}$ ㎡であることをかく。

③ $\frac{2}{3}$ Lでぬれる面積を何㎡とすることをかく。

関係図

① 1.5Lでぬれる面積が $\frac{4}{5}$ ㎡であることをかく。

6年 p.280

基礎操作から図的表現へ(加法・減法)

第1学年から第3学年にかけて、具体的な操作を図的に表現していく過程を丁寧に示しています。

数図ブロック(1年) → テープ図(2年) → 線分図(3年)

テープ図や線分図のかき方は、操作の手順と揃うように配慮しています。

数量関係に着目するために(乗法・除法)

第3学年からは、数量関係に着目して、演算等を考えることができるようにしています。

数量関係の主なものとしては、次のような3つがあります。

関係① 異種の2量の関係(比例)
関係② 同種の2量の関係(倍・割合)
関係③ 全体と部分の関係(割合)

どの場合にも問題文から「aのb倍がc」という文脈を読みとることがとても大切ですので、それを表す**関係図**を第3学年から一貫して扱っています。

また、数量の大きさを表した図も問題に即して扱っています。

関係① 数直線を2本並べた図(数直線図)
関係② 数直線とテープを並べた図
関係③ 線分図

なお、線分図は、中学校数学でも方程式の立式といった「等しい関係」をとらえる際に使われます。

1年の特色

▶ スタートカリキュラムはこの冊子のp8に掲載

▶ 統計分野はこの冊子のp20～21に掲載

数学的活動の充実に
向けて工夫した
ところがありますか？

「たしざん(2)」や
「ひきざん(2)」では、

発問 や
子どもの発言 を

詳しく示して、取り組むべき活動を
わかりやすくしました。

① を うごかして $8+3$ の けいさんを
して みましょう。

10をつくれば
かぞえやすいよ。
ひなた

3から 2
うごかせば、
10になるよ。
だい

10と 1で……
さくら

$8+3=$ だい

1年 p.95

つまずきに配慮した
ポイントがありますか？

「なんじなんぷん」では、
苦手な子どもの多い
時計の読み方 の手順を
丁寧に掲載しました。
巻末の **かぞえかた** と
リンクしています。

① とけいを よみましょう。

9じ3ぶん

① みじかい はりて、
なんじかを よむ。
② ながい はりて、
なんぷんかを よむ。

みじかい はりが 9と
10の あいだを さして
いるから 9じです。

ながい はりが 3を さして
いるから 3ぶんです。

この 本の おわりに **かぞえかた** の ページが あります。

144

1年 p.144

日常との関わりを
大切にしている
ところがありますか？

巻末にある助数詞の一覧

かぞえかた をより充実させました。

子どもたちに身近な

学校場面での数え方 を

取り上げて、使いやすくしました。

1年 p.172

かぞえかた

	ボール	かみ	本	えんぴつ
	いくつ	なんこ	なんまい	なんさつ
1	1つ	1こ	1まい	1さつ
2	2つ	2こ	2まい	2さつ
3	3つ	3こ	3まい	3さつ
4	4つ	4こ	4まい	4さつ

100までの数表は、
なぜ1から始まって
いるのですか？

0から始まる数表は、十進位取り記数法を重視しており、
十の位が同じ数を横に並べたもので、桁数の違いにも
着目しやすいものといえます。

一方、啓林館では、0からではなく、1から始まる数表
を採用しています。

1年生の段階では数それ自体を考察することが難しい
子どももいるため、具体物と対応させながら丁寧な
指導ができるように配慮しています。

100までの かず

① いくつ ありますか。

② 1 から 100 まで じゅんじょよく
かきましょう。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

1年 p.134～135「大きい数」

2年の特色

数学的活動の充実に
向けて工夫した
ところがありますか？

図の使い方や**かき方**を
丁寧に示して、これ以降の
学習でも子どもたち自身が
積極的に使えるように
しました。

▶ 統計分野はこの冊子のp20～21に掲載

図の かき方

① ふくろの あめ 12こ

② ばらの あめ 5こ

③ ぜんぶで 何こ

ふくろの あめ 12こ

ばらの あめ 5こ

ぜんぶの 数 □こ

もとめる ところは
□に して おきましょう。

2年上 p.65

深い学びの実現に向けて
工夫したところは
ありますか？

「かけ算(2)」で、多様な考え方が
できる問題を取り上げて、友達と
考えを伝え合い、
よりよく解決する態度
を育めるようにしました。

だいちさんの 考え

だいち

同じ 数の まとまりに
目をつけた。

たてに 見ると、
5こずつが 2れつと
3こずつが 3れつ
ならんで います。
 $5 \times 2 = 10$
 $3 \times 3 = 9$
 $10 + 9 = 19$ 19こ

ひなたさんの 考え

ひなた

はこぜんたいから
ない ところを ひきました。

はこぜんたいは
5こずつが 5れつ、
ない ところは
2こずつが 3れつなので、
 $5 \times 5 = 25$
 $2 \times 3 = 6$
 $25 - 6 = 19$ 19こ

ほかの 人の 考えと にて いる ところや
ちがう ところを 話しあひましょう。

2年下 p.39

つまずきに配慮した
ポイントはありますか？

「分数」では、分数の意味を
より丁寧に表しました。

子どもたちに

親しみやすい題材で、

$\frac{1}{3}$ などの割合分数の
素地が指導できます。

1 右のように、1はこに 12こ入りの
おかしと 18こ入りの おかしが
あります。
それぞれの $\frac{1}{2}$ や $\frac{1}{3}$ の
大きさに ついて しらべましょう。

12この $\frac{1}{2}$ は、12こを
同じように 2つに 分けた
1つ分だから……

12この $\frac{1}{3}$ は……

めあて $\frac{1}{2}$ や $\frac{1}{3}$ の 大きさに ついて しらべよう。

だいちさんは、12この $\frac{1}{2}$ の 大きさを
つぎのような 図に あらわして 考えました。

図を 見ると、
12こは、6この
2ばいとも いえます。

12この $\frac{1}{2}$ の 大きさは 6こ

12この $\frac{1}{3}$ の 大きさも 同じように
図に あらわして みましょう。

2年下 p.110

どうして17+4や
21-8のような
暗算を学習する
のですか？

3年生で、 46×7 のような筆算を行います、
その途中には $28 + 4$ の計算が出てきます。
この計算をわざわざ筆算でしては大変です。
そのようなことのないように、
簡単な計算は念頭で行う必要があります。
暗算は、数の系列やまとまりに基づいた処理を含むため、
数に対する感覚を豊かにすることにもつながります。

めあて 17+4の 計算の しかたを、何十をつくら 考えよう。

20に するには、
あと 3を たせば
いいです。

4を 3と 1に
分けます。

17に 3を たして
20です。
20と 1で 21です。

2年上 p.26 「たし算とひき算」

3年の特色

▶ 統計分野はこの冊子のp20～21に掲載

▶ 割合関係はこの冊子のp22～23に掲載

深い学びの実現に向けて
工夫したところは
ありますか？

「あまりのあるわり算」では、
あまりの処理を考える問題の
扱いを強化しました。
目的にあわせて判断する力を
いっそう育むことができます。

1 35人の子どもが、長いす
1きやくに4人ずつすわって
いきます。
みんなすわるには、長いすが
何きやくいりますか。



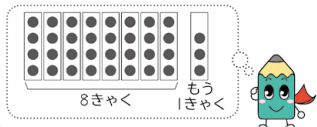
$35 \div 4 = 8 \text{ あまり } 3$

だいichi: 8あまり3だけど、答えは
8きやくでいいのかな。

ひなた: のこりは3人。
みんなすわるには……

めあて あまりをどうすればよいのかを考えて、長いすの数をもとめよう。

のこりの3人がすわるには
もう1きやくいるから、きやく きやく



8きやく もう1きやく

3年上 p.111

数学的活動の充実に
向けて工夫した
ところがありますか？

『てんびん』の付録を作り
やすいものに改良したり、
「三角形」で『色ぼう』の
付録を追加したりして、
活動の充実と先生方の
負担軽減を図りました。

157ページの『てんびん』を組み立てて、
重さをくらべましょう。



三角じょうぎの
ほうが重いね。

3年上 p.116



いろいろな
三角形が
できたよ。

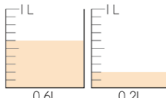
ひなた

3年下 p.58

つまずきに配慮した
ポイントがありますか？

「小数のたし算・ひき算」は、
ページ数・配当時間数を増やして、
「0.1がいくつ分」の
考えを丁寧に扱っています。
筆算も**展開を見直し**しました。

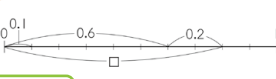
1 ジュースが大きいびんに0.6L、
小さいびんに0.2Lはいっています。
あわせて何Lになりますか。



式

ひなた: 小数のたし算は
どのように計算すれば
いいのかな。

めあて 小数のたし算のしかたを考えよう。



0.1 0.6 0.2

0.1が何ことになるかを
考えよう。

3年下 p.77

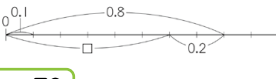
5 ジュースが0.8Lあります。
0.2L飲むと、のこりは何Lになりますか。



式

だいichi: ひき算も、たし算と
同じように考えて……

めあて 小数のひき算のしかたを考えよう。



0.1 0.8 0.2

0.1が何ことになるかを
考えると……

3年下 p.78

「買えますか？
買えませんか？」
を扱っている意図は
何ですか？

300円でどれだけ買えるかなど、日常でよく出会う
問題には、計算をしなくても見積もって判断できる
ものがあります。
見積もりは、以降の学習でも計算の大きな誤りを防ぐ
手立てとなります。
1～3年で「買えますか？買えませんか？」、
4～6年で「見積もりを使って」と、系統的に見積もり
を学習することで、根拠をもって判断する力を培えます。

1 300円で98円ののりと198円のノートを買った。ひなたさんは
どのように考えたのでしょうか。



ひなた: 買えます。

98円ののりは、100円で買えます。
198円のノートは、200円で 。
それぞれ、100円と200円で から、
のりとノートは300円で 。

3年下 p.104
「わくわく算数ひろば」
買えますか？
買えませんか？

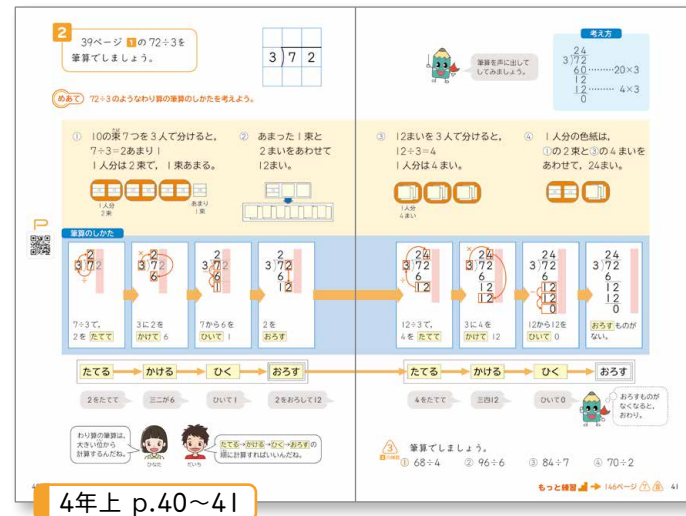
4年の特色

▶ 統計分野はこの冊子のp20～21に掲載

▶ 割合関係はこの冊子のp22～23に掲載

数学的な見方・考え方を
特に意識したところは
ありますか？

「1けたでわるわり算の筆算」では、
筆算の **アルゴリズムを強調**
しました。手順を明確に示すことで、
プログラミング的思考の
素地を培います。



深い学びの実現に向けて
工夫したところは
ありますか？

「式と計算の順じょ」では、
式や図から考え方をよみとって
計算法則を見いだすとともに、
整数から小数に
統合・発展させる見方を
扱っています。

1 ほのかさんは1まい60円のカードを5まい買い、
弟は1まい40円のカードを5まい買いました。
ほのかさんと弟の買ったカードの代金は、全部で
何円ですか。
また、ほのかさんと弟の買ったカードの代金の
ちがいは何円ですか。

ほのか 弟

2 だいちさんとひなたさんは、ほのかさんと弟の買った
カードの全部の代金を求めるのに、下のように考えました。
だいちさんとひなたさんの考えを説明してみましょう。

だいち 60+40 60×5+40×5
60+40 60×5 40×5

めあて 式や図を見て、どのように考えたのかを説明しよう。

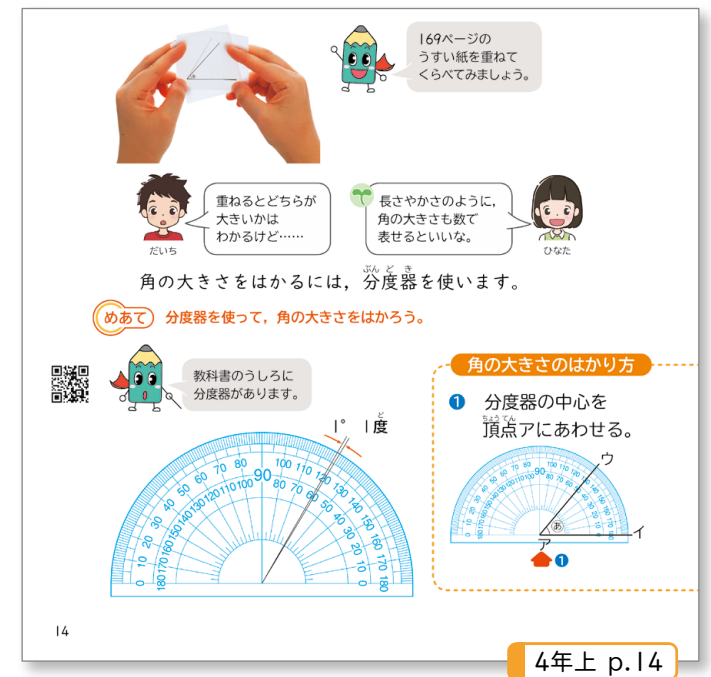
だいちさんの考え
60円と40円のカードを1組に
すると、(60+40)円です。
全部の代金はその5組分なので、
(60+40)×5になります。

ひなたさんの考え
60円のカードの代金は60×
40円のカードの代金は40×
それぞれべつべつに求めてたすと、
60×5+40×5になります。

4年上 p.128

数学的活動の充実に
向けて工夫した
ところはありますか？

「角とその大きさ」では、
角の大きさを直接くらべる
ことができる **薄紙の付録**
を用意しています。
また、 **分度器の付録** は
予備も用意しました。



「だれでしょう」
のような文章題を
扱っている意図は
何ですか？

啓林館では、算数・数学の力として、論理的に考える力
の育成を大切にしています。
「だれでしょう」のように、計算などを含まない
純粋に論理だけを考える問題に取り組むことで、
子どもたちの思考力の幅を広げ、考える楽しさを
味わえるようにしています。
情報をもとに論理的に考え判断する力は、今後の社会
ではますます重要になります。

わくわく算数ひろば

1 あきらさん、かつやさん、さとしさん、たいきさんに、
好きなスポーツを1つ聞きました。
4人の答えは、みんなちがっていて、野球、サッカー、
テニス、水泳でした。
それぞれの好きなスポーツをみつけましょう。

2 5人の女の子がいます。
それぞれのとくちようをみて、どの子がだれなのかを
みつけましょう。

さくら、しおり、すみれ、せりな、そのか

4年下 p.108～109
「わくわく算数ひろば」
だれでしょう

5年の特色

▶ 統計分野はこの冊子のp20～21に掲載

▶ 割合関係はこの冊子のp22～23に掲載

数学的な見方・考え方を
特に意識したところは
ありますか？

「多角形の内角の和」では、
多様な考え方を

統合・発展するプロセス

(結果の整理・過程のふりかえり)
を示すようにしました。

つまずきに配慮した
ポイントはありますか？

「小数の乗除」では、意味にもとづく

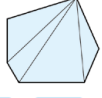
積や商の大きさの見積もり

を丁寧に扱いました。

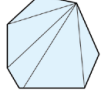
立式・計算・結果の理解が
確かなものになります。

2 六角形や七角形の角の大きさの和を求めてみましょう。

だいちさんの考え

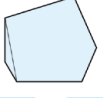
六角形 

$180^\circ \times \square = \square^\circ$

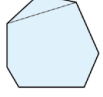
七角形 

$180^\circ \times \square = \square^\circ$

ひなたさんの考え

六角形 

$540^\circ + \square^\circ = \square^\circ$

七角形 

$720^\circ + \square^\circ = \square^\circ$

図形	三角形	四角形	五角形	六角形	七角形	八角形
角の大きさの和	180°	360°	540°			

三角形が1個ずつ増えていくから、180°ずつ増えていくんだね。

5年 p.89

1 0.8mのホースの重さをはかると、720gでした。このホース1m分の重さは何gですか。

式にかきましょう。

0.8m 720g 長さ(m)

式 $\square$

計算してみましょう。

ひなたさんの考え

0.8を10倍、720を10倍して考えました。

わり算の性質を使って、
 $720 \div 0.8 = (720 \times 10) \div (0.8 \times 10)$
 $= 7200 \div 8$
 $= \square$ g

わり算の答えは、いつもわられる数より小さくなるとはかぎらないだね。

5年 p.56

深い学びの実現に向けて
工夫したところは
ありますか？

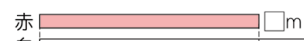
「小数の乗除」や「割合」で扱う
3つの場面を、文・図・式を使って
比較することで、

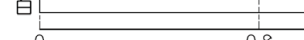
問題の本質にせまる

見方・考え方を

養えるようにしました。

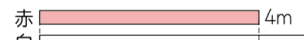
①を□としたとき

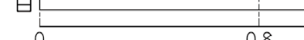
赤  5m

白  0.8 (倍)

式 $5 \times 0.8 = \square$

②を□としたとき

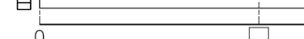
赤  4m

白  0.8 (倍)

式 $\square \times 0.8 = 4$

③を□としたとき

赤  4m

白  5m

式 $5 \times \square = 4$

5年 p.67

「面積」の学習で、
三角形から導入
しているのは
どうしてですか？

三角形や平行四辺形の面積を求めるには、底辺とそれに垂直な高さが必要なので、直角三角形から導入し、直角に着目しやすくしています。

また、三角形に分ければどんな多角形でも面積を求められるという数学的な見方・考え方を育むために、三角形を先に扱っています。

今回は、三角形から学ぶよさを生かしつつ、単元全体をより学びやすい展開に改訂しました。

面積を求めることができるかな？

9 面積

あからくの中で、面積の求め方を学習した図形はどれですか。

① 長方形の面積
たて×横
 $\square \times \square = \square$ cm²

② 正方形の面積
1辺×1辺
 $\square \times \square = \square$ cm²

③ 三角形の面積
①の直角三角形の面積の求め方を考えよう。

④ 平行四辺形の面積
①の直角三角形の面積の求め方を考えよう。

5年 p.128～129「面積」

6年の特色

- ▶ 6年巻末はこの冊子のp19に掲載
- ▶ 統計分野はこの冊子のp20～21に掲載
- ▶ 割合関係はこの冊子のp22～23に掲載

数学的な見方・考え方を 特に意識したところは ありますか？

「円の面積」では、
公式を見いだすときに、
図の見方・考え方と
計算の見方・考え方を
相互に関連づけて示しています。

① ②で考えた図形を長方形とみると、長方形の縦と横の長さは、それぞれ円のどの部分と同じですか。

縦は円の半径と同じで、横は円周の半分と同じです。

② ①から、円の面積を求める公式を考えましょう。

$$\begin{aligned} \text{円の面積} &= \text{半径} \times \text{円周} \times \frac{1}{2} \\ &= \text{半径} \times \text{直径} \times \text{円周率} \times \frac{1}{2} \\ &= \text{半径} \times \text{半径} \times \text{円周率} \end{aligned}$$

円周 = 直径 × 円周率

まとめ 円の面積の公式

円の面積は次の公式を使って求めることができます。
円の面積 = 半径 × 半径 × 円周率

6年 p.99

つまずきに配慮した ポイントがありますか？

「割合を使って」では、
全体を1とみる見方・考え方に
抵抗を感じる子どもがいることを踏まえ、
丁寧なプロセスで
理解が図れるようにしました。

① 水そういっぱいに入水を入れるのに、Aのじゃ口を使うと10分、Bのじゃ口を使うと15分かかります。両方をいっしょに使うと、何分でいっぱいになりますか。

じゃ口から出る水の量も水そうにはいる水の量もわからないけど……

1分間にどれだけ水がはいるかを図にかいてみると……

めあて 図にかいて、問題を整理して考えよう。

② Aのじゃ口で1分間にいれられる水の量は、水そう全体のどれだけにあたりますか。

水そう全体を1として考えましょう。

6年 p.198

中学校への接続で 工夫したところは ありますか？

「比例」に、表やグラフをもとに
きまった数の
意味をとらえ直す
場面がありますが、
そこで**中学校の
変化の割合の見方**
に触れるようにしました。

② ①のかいとさんが求めた $y=2 \times x$ の式で、きまった数が2になるわけを、表やグラフを使って説明してみましょう。

x (cm)	1	2	3
y (cm ²)	2	4	6

表を縦に見ると、どの対応する値の商もきまった数2になるからです。

xの値が1のときのyの値がきまった数2になるからです。

xの値が1増えるときに、yの値が増える量2もきまった数になります。

6年 p.161

「場合の数」で、 先に組合せを 扱っているのは どうしてですか？

算数では、場合の数を求めるのに、表や図を使ってすべての場合を書き出します。
場合の数を初めて学ぶ子どもたちには、書き出す数が少ない組合せのほうが簡単に感じられると考えて、組合せを先に取り上げています。
高校数学で、計算で求める手続きを学習する場合には、順列の計算を組合せの計算で使うことから、順列が先に扱われます。

① 左のページの4チームで、どのチームも1回ずつあたるように試合をします。試合の組み合わせをすべてかきましょう。

② チームを㊀, ㊁, ㊂, ㊃として、図や表にかいて考えましょう。

6年 p.187「場合を順序よく整理して」

1年の単元一覧表

		単元名	学習指導要領との対応	該当箇所	配当時数	
前期 65時間 (予備時数3時間)	1学期 45時間 (予備時数3時間)	4月	どきどき がっこう	A(1) ア(ア) ㊦1(4)	p.2-7 3	
			1.かずと すうじ	A(1) ア(ア)(イ)	p.8-17 7	
		5月	2.なんばんめ	A(1) ア(イ)	p.18-21 3	
			3.いくつと いくつ	A(1) ア(イ)(エ)	p.22-29 7	
			4.いろいろな かたち	B(1) ア(ア)(イ)	p.30-35 3	
			*ふくしゅう	㊦1(2)	p.36-37 1	
		6月	5.ふえたり へったり	A(2) ア(ア)	p.38-39 1	
			6.たしざん(1)	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.40-47 7	
			*ふくしゅう	㊦1(2)	p.48-49 1	
	7月	7.ひきざん(1)	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.50-61 10		
		8.かずしらべ	D(1) ア(ア) イ(ア)	p.62-63 1		
		*ふくしゅう	㊦1(2)	p.64-65 1		
	後期 62時間 (予備時数3時間)	2学期 53時間 (予備時数3時間)	9月	9.10より おおきい かず	A(1) ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ) (2) ア(ア)(エ)	p.66-77 8
				*ふくしゅう	㊦1(2)	p.78-79 1
				10.なんじ なんじはん	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.80-81 1
				11.おおきさくらべ(1)	C(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.82-87 5
			10月	12.3つの かずの けいさん	A(2) ア(イ)(ウ)(エ) イ(ア)	p.88-92 4
				*ふくしゅう	㊦1(2)	p.93 1
			13.たしざん(2)	A(2) ア(ウ) イ(ア)	p.94-103 9	
11月			14.かたちづくり	B(1) ア(イ) イ(ア)	p.104-108 5	
			*ふくしゅう	㊦1(2)	p.109 1	
		15.ひきざん(2)	A(2) ア(ウ) イ(ア)	p.110-121 11		
		16.0の たしざんと ひきざん	A(2) ア(ウ)	p.122-123 2		
12月		17.ものと ひとの かず	A(1) ア(イ) イ(ア) (2) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦2(1)	p.124-126 3		
		◎ものの いち	B(1) ア(ウ) ㊦2(1)	p.127 1		
		*ふくしゅう	㊦1(2)	p.128-129 1		
3学期 29時間 (予備時数3時間)		1月	18.大きい かず	A(1) ア(ウ)(オ)(カ)(キ) イ(ア)	p.130-143 13	
			19.なんじなんぶん	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.144-146 2	
		2月	20.おなじ かずずつ	A(1) ア(ク)	p.147 1	
			◎たすのかな ひくのかな	A(2) ア(イ) イ(ア) ㊦2(1)	p.148-149 1	
		*ふくしゅう	㊦1(2)	p.150-151 1		
		21.100までの かずの けいさん	A(2) ア(エ)	p.152-155 4		
		22.おいほう すくないほう	A(2) ア(イ) イ(ア)	p.156-157 2		
	3月	23.大きさくらべ(2)	C(1) ア(ア) イ(ア)	p.158-159 1		
		◎かえますか? かえませんか?	㊦2(6)	p.160-161 1		
	*もう すぐ 2年生	㊦1(2)	p.162-167 3			
㊦…第3 指導計画の作成と内容の取扱い				年間 計127時間 (予備時数 9時間) ※標準時数 136時間		

2年の単元一覧表

		単元名	学習指導要領との対応	該当箇所	配当時数	
前期 75時間 (予備時数15時間)	1学期 60時間 (予備時数5時間)	4月	★わくわく算数学しゅう	㊦2(1) A(2) ア(ア)	上p.6-9	1
		1.ひょうとグラフ	D(1) ア(ア) イ(ア)	上p.10-15	3	
		2.時こくと時間	C(2) ア(ア) イ(ア)	上p.16-23	4	
		3.たし算とひき算	A(2) ア(ア) イ(ア)	上p.24-33	5	
		5月	4.長さ	C(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	上p.34-47	9
		5.たし算とひき算のひっ算(1)	A(2) ア(ア)(ウ) イ(ア) ㊦(3)	上p.48-61	11	
		6月	*ふくしゅう	㊦1(2)	上p.62-63	1
		㊦図をつかって考えよう(1)	A(2) ア(エ)	上p.64-73	6	
		6.100をこえる数	A(1) ア(イ)(ウ)(オ) イ(ア) (2) ア(イ)	上p.74-87	11	
		7月	7.かさ	C(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	上p.88-95	6
		㊦どんな計算になるのかな(1)	A(2) ア(ア) イ(ア)	上p.96-97	1	
		㊦算数のじゅうけんきゅう	㊦2(1)	上p.98-99	1	
	*ふくしゅう	㊦1(2)	上p.100-101	1		
	2学期 60時間 (予備時数10時間)	9月	8.たし算とひき算のひっ算(2)	A(2) ア(ア)(ウ) イ(ア)	上p.102-113	10
		㊦図をつかって考えよう(2)	A(2) ア(ウ)	上p.114-117	3	
9.しきと計算		A(2) ア(ウ) ㊦(2)(3)	上p.118-120	2		
10月		★学びのサポート	㊦1(2) 2(1)	上p.121-148	-	
10.かけ算(1)		A(3) ア(ア)(イ)(ウ)(エ) イ(ア)	下p.2-23	16		
*ふくしゅう		㊦1(2)	下p.24-25	1		
11月		11.かけ算(2)	A(1) ア(エ) (3) ア(ア)(イ)(ウ)(エ) イ(ア)(イ)	下p.26-41	13	
12.三角形と四角形		B(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(5)	下p.42-57	10		
㊦図をつかって考えよう(3)		A(2) ア(エ)	下p.58-61	2		
12月		㊦どんな計算になるのかな(2)	A(3) ア(イ)	下p.62-63	1	
㊦買えますか?買えませんか?		A(2) ア(ア) イ(ア) ㊦(2)	下p.64-65	1		
*ふくしゅう		㊦1(2)	下p.66-68	1		
後期 81時間 (予備時数4時間)		3学期 36時間 (予備時数4時間)	1月	13.九九のきまり	A(1) ア(エ) (3) ア(イ)(ウ)(エ)(オ) イ(ア) ㊦(4)	下p.70-79
	14.100cmをこえる長さ		C(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	下p.80-87	6	
	*ふくしゅう		㊦1(2)	下p.88-89	1	
	2月		15.1000をこえる数	A(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) ㊦(1)	下p.90-97	7
	16.はこの形		B(1) ア(ウ) イ(ア)	下p.98-105	5	
	17.分数		A(1) ア(カ)	下p.106-111	4	
	㊦何番目		㊦2(1)	下p.112-113	1	
	㊦よみとる算数		㊦2(1)	下p.114-115	1	
	*もうすぐ3年生		㊦1(2)	下p.116-120	3	
	★学びのサポート		㊦1(2) 2(1)	下p.121-144	-	
	㊦…内容の取扱い ㊦…第3 指導計画の作成と内容の取扱い				年間 計156時間 (予備時数 19時間) ※標準時数 175時間	

3年の単元一覧表

			単元名	学習指導要領との対応	該当箇所	配当時数	
前期 82時間 (予備時数8時間)	1学期 60時間 (予備時数5時間)	4月	★わくわく算数学習	A(1) ア(ウ) (2) ア(ア) ㊦2(1)	上p.6-9	1	
			1.九九の表とかけ算	A(3) ア(イ)(ウ) ㊦(3)(4)	上p.10-18	5	
		5月	2.わり算	A(4) ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ) イ(ア)(イ)	上p.19-33	10	
			㊦図を使って考えよう	㊦2(1)	上p.34-37	2	
			3.たし算とひき算の筆算	A(2) ア(ア)(イ) イ(ア)	上p.38-49	9	
		6月	*ふく習	A(2) ア(イ) ㊦1(2)	上p.50-51	1	
			4.時こくと時間	C(2) ア(ア)(イ) イ(ア)	上p.52-57	4	
			5.一万をこえる数	A(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) ㊦(1)	上p.58-73	12	
		7月	6.表とグラフ	D(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(8)	上p.74-89	9	
			7.たし算とひき算	㊦(2)	上p.90-91	4	
	㊦どんな計算になるのかな		A(4) ア(イ)(ウ)	上p.92-93	1		
	㊦算数の自由研究		㊦2(1)	上p.94-95	1		
	2学期 63時間 (予備時数5時間)	9月	*ふく習	㊦1(2)	上p.96-97	1	
			8.長さ	C(1) ア(ア)(イ)	上p.98-103	5	
9.あまりのあるわり算			A(4) ア(ア)(ウ)(エ) イ(イ)	上p.104-115	8		
10.重さ			C(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(7)	上p.116-129	8		
*ふく習			㊦1(2)	上p.130-132	1		
★学びのサポート			㊦1(2) 2(1)(3)	上p.133-157	—		
後期 78時間 (予備時数7時間)	11月	11.円と球	B(1) ア(ウ) イ(ア) ㊦(6)	下p.2-13	8		
		12.何倍でしょう	A(3) ア(ウ) (4) ア(ウ) ㊦2(1)	下p.14-19	4		
		13.計算のじゅんじょ	A(3) ア(ウ) イ(ア) ㊦(4)	下p.20-21	1		
		14.1けたをかけるかけ算の筆算	A(1) ア(ウ) (3) ア(ア)(イ) ㊦(2)	下p.22-35	12		
		15.式と計算	A(3) ア(ウ) ㊦(4)	下p.36-39	2		
		16.分数	A(6) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	下p.40-51	10		
		12月	㊦間の数	㊦2(1)	下p.52-53	2	
	㊦算数ラボ		㊦2(1)	下p.54-55	1		
	*ふく習		㊦1(2)	下p.56-57	1		
	3学期 37時間 (予備時数3時間)		1月	17.三角形	B(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(6)	下p.58-69	8
		18.小数		A(5) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(5)	下p.70-83	10	
		2月	*ふく習	㊦1(2)	下p.84-85	1	
			19.2けたをかけるかけ算の筆算	A(3) ア(ア)(イ)	下p.86-93	6	
			20.□を使った式	A(7) ア(ア) イ(ア)	下p.94-99	4	
3月		㊦そろばん	A(8) ア(ア)(イ) イ(ア)	下p.100-103	2		
		㊦買えますか？ 買えませんか？	㊦2(1)	下p.104-105	1		
	㊦みらいへのつばさ	㊦2(1)	下p.106-109	2			
	*もうすぐ4年生	㊦1(2)	下p.110-114	3			
★学びのサポート					㊦1(2) 2(1)(3)	下p.115-139	—
㊦…内容の取扱い ㊦…第3 指導計画の作成と内容の取扱い					年間 計160時間 (予備時数 15時間) ※標準時数 175時間		

4年の単元一覧表

			単元名	学習指導要領との対応	該当箇所	配当時数	
前期 84時間（予備時数5時間）	1学期 60時間（予備時数5時間）	4月	★わくわく算数学習	㊦2(1) A(3) ア(ア)(イ)	上p.6-9	1	
			1.角とその大きさ	B(5) ア(ア)(イ) イ(ア)	上p.10-25	8	
			2.折れ線グラフ	C(1) ア(ア) イ(ア) D(1) ア(イ) イ(ア) ㊦(10)	上p.26-37	6	
		5月	3.1けたでわるわり算の筆算	A(3) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) ㊦(2)(3)	上p.38-51	10	
			*ふく習	内(3) ㊦1(2)	上p.52-53	1	
			4.一億をこえる数	A(1) ア(ア) イ(ア) ㊦(1)	上p.54-65	8	
		6月	5.垂直・平行と四角形	B(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(7)	上p.66-85	14	
			6.小数	A(4) ア(イ)(ウ)	上p.86-97	9	
		7月	◎算数ラボ	㊦2(1)	上p.98-99	1	
	◎算数の自由研究		㊦2(1)	上p.100-101	1		
	*ふく習		㊦1(2)	上p.102-103	1		
2学期 64時間（予備時数6時間）	10月	9月	7.2けたでわるわり算の筆算	A(3) ア(ア)(イ)(エ) イ(ア) ㊦(4)	上p.104-117	11	
			8.割合	C(2) ア(ア) イ(ア) ㊦2(1)	上p.118-123	4	
			9.式と計算の順じょ	A(6) ア(ア) イ(ア) (7) ア(ア) イ(ア) ㊦(3)(6)	上p.124-135	8	
			◎そろばん	A(8) ア(ア) イ(ア)	上p.136-138	1	
			★学びのサポート	㊦1(2) 2(1)(3)	上p.139-173	-	
		後期 76時間（予備時数6時間）	11月	10.面積	A(6) ア(イ) イ(ア) B(4) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(8)	下p.2-17	10
				*ふく習	㊦(3) ㊦1(2)	下p.18-19	1
11.がい数とその計算	A(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) ㊦(2)			下p.20-31	8		
◎図を使って考えよう	㊦2(1)			下p.32-33	2		
12.小数のかけ算やわり算	A(4) ア(ア)(エ) イ(ア) ㊦(5)			下p.34-53	16		
◎見積もりを使って	㊦2(1)(5)			下p.54-55	1		
3学期 36時間（予備時数4時間）	12月	◎どんな計算になるのかな	㊦2(1)	下p.56-57	1		
		*ふく習	㊦1(2)	下p.58-59	1		
		1月	13.調べ方と整理のしかた	D(1) ア(ア) イ(ア) ㊦(9)	下p.60-69	4	
			◎表を使って考えよう	D(1) ア(ア) ㊦2(1)	下p.70-71	1	
			14.分数	A(5) ア(ア)(イ) イ(ア)	下p.72-83	7	
		2月	*ふく習	㊦1(2)	下p.84-85	1	
			15.変わり方	A(6) ア(ウ) C(1) ア(ア) イ(ア)	下p.86-93	6	
			16.直方体と立方体	B(2) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) (3) ア(ア) イ(ア)	下p.94-107	11	
		3月	◎だれでしょう	㊦2(1)	下p.108-109	1	
			◎みらいへのつばさ	㊦2(1)	下p.110-113	2	
			*もうすぐ5年生	㊦1(2)	下p.114-118	3	
★学びのサポート	㊦1(2) 2(1)(3)		下p.119-142	-			
㊦…内容の取扱い ㊦…第3 指導計画の作成と内容の取扱い					年間 計160時間 (予備時数 15時間) ※標準時数 175時間		

5年の単元一覧表

			単元名	学習指導要領との対応	該当箇所	配当時数
前期 79時間 (予備時数11時間)	1学期 57時間 (予備時数8時間)	4月	★わくわく算数学習	㊦2(1)	p.6-9	1
			1.整数と小数	A(2) ア(ア) イ(ア)	p.10-15	4
		5月	2.体積	B(4) ア(ア)(イ) イ(ア)	p.16-27	9
			3.比例	C(1) ア(ア) イ(ア)	p.28-31	2
			*復習	㊦1(2)	p.32-33	1
		6月	4.小数のかけ算	A(3) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) C(3) ア(ア)	p.34-51	11
			5.小数のわり算	A(3) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) C(3) ア(ア)	p.52-73	14
	2学期 64時間 (予備時数6時間)	7月	6.合同な図形	B(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(2)	p.74-91	11
			◎人文字	㊦2(1)	p.92-93	1
			◎どんな計算になるのかな	㊦2(1)	p.94-95	1
			◎算数の自由研究	㊦2(1) ㊦(2)	p.96-97	1
		9月	*復習	㊦1(2)	p.98-99	1
			7.整数	A(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(1)	p.100-111	10
			8.分数(1)	A(4) ア(ウ)(エ) イ(ア) (5) ア(ア) イ(ア)	p.112-123	9
後期 79時間 (予備時数6時間)	3学期 37時間 (予備時数3時間)	10月	◎図を使って考えよう	㊦2(1)	p.124-125	2
			*復習	㊦1(2)	p.126-127	1
		11月	9.面積	B(3) ア(ア) イ(ア) C(1) ア(ア) イ(ア)	p.128-149	13
			10.平均とその利用	D(2) ア(ア) イ(ア)	p.150-157	6
			11.単位量あたりの大きさ	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.158-163	4
			12.分数(2)	A(4) ア(ア)(イ) イ(イ) C(3) ア(ア)	p.164-171	5
			13.割合	C(3) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(4)	p.172-183	9
	4学期 40時間 (予備時数3時間)	12月	◎表を使って考えよう(1)	㊦2(1)	p.184-185	2
			◎見積もりを使って	㊦2(1)	p.186-187	2
		1月	*復習	㊦1(2)	p.188-189	1
			14.円と正多角形	B(1) ア(ウ)(エ) イ(ア) C(1) ア(ア) イ(ア) ㊦(3)	p.190-199	7
		2月	15.割合のグラフ	D(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ㊦(5)	p.200-209	6
			*復習	㊦1(2)	p.210-211	1
			16.角柱と円柱	B(2) ア(ア) イ(ア)	p.212-219	6
後期 79時間 (予備時数6時間)	3学期 37時間 (予備時数3時間)	2月	17.速さ	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.220-227	6
			18.変わり方	A(6) ア(ア) イ(ア) C(1) ア(ア) イ(ア)	p.228-233	3
		3月	◎表を使って考えよう(2)	㊦2(1)	p.234-235	2
			◎算数ラボ	㊦2(1)(2)	p.236-237	1
		3月	◎みらいへのつばさ	㊦2(1)	p.238-241	2
			*もうすぐ6年生	㊦1(2)	p.242-246	3
			★学びのサポート	㊦1(2) 2(1)(3)	p.247-301	—
	4学期 40時間 (予備時数3時間)	3月	◎表を使って考えよう(2)	㊦2(1)	p.234-235	2
			◎算数ラボ	㊦2(1)(2)	p.236-237	1
		3月	◎みらいへのつばさ	㊦2(1)	p.238-241	2
			*もうすぐ6年生	㊦1(2)	p.242-246	3
			★学びのサポート	㊦1(2) 2(1)(3)	p.247-301	—
		3月	◎表を使って考えよう(2)	㊦2(1)	p.234-235	2
			◎算数ラボ	㊦2(1)(2)	p.236-237	1

㊦…内容の取扱い ㊦…第3 指導計画の作成と内容の取扱い

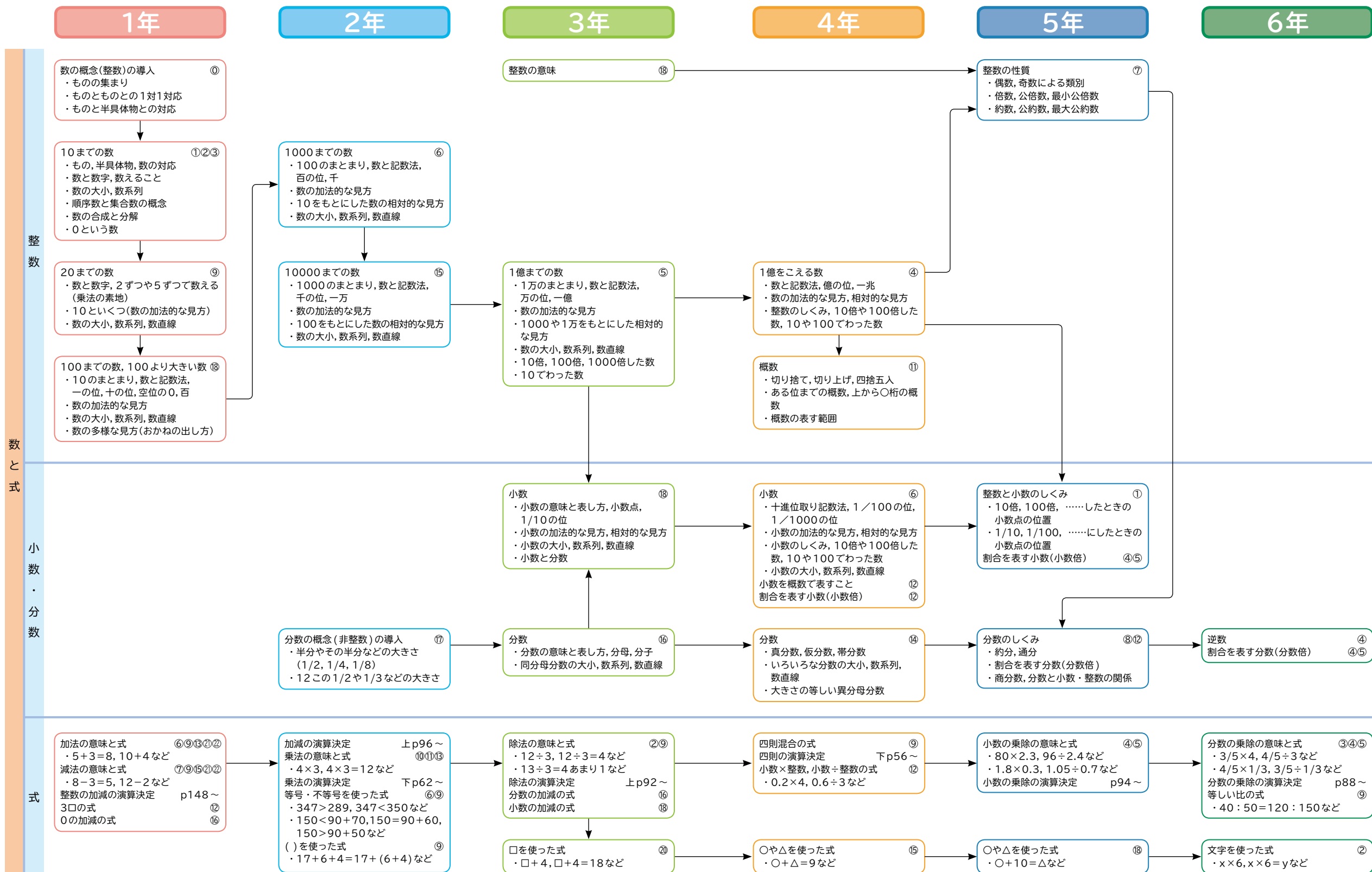
年間 計158時間
(予備時数 17時間)
※標準時数 175時間

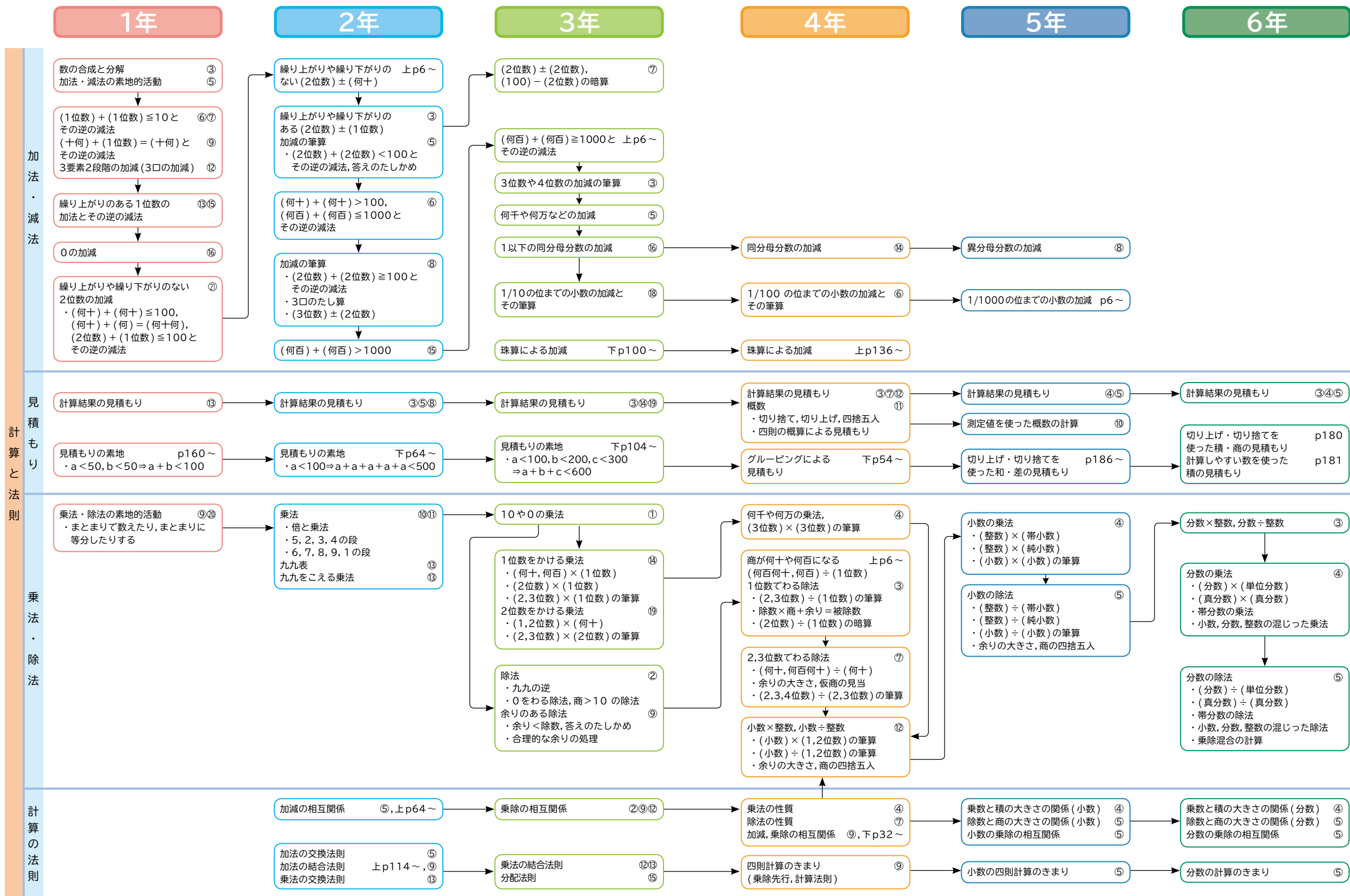
6年の単元一覧表

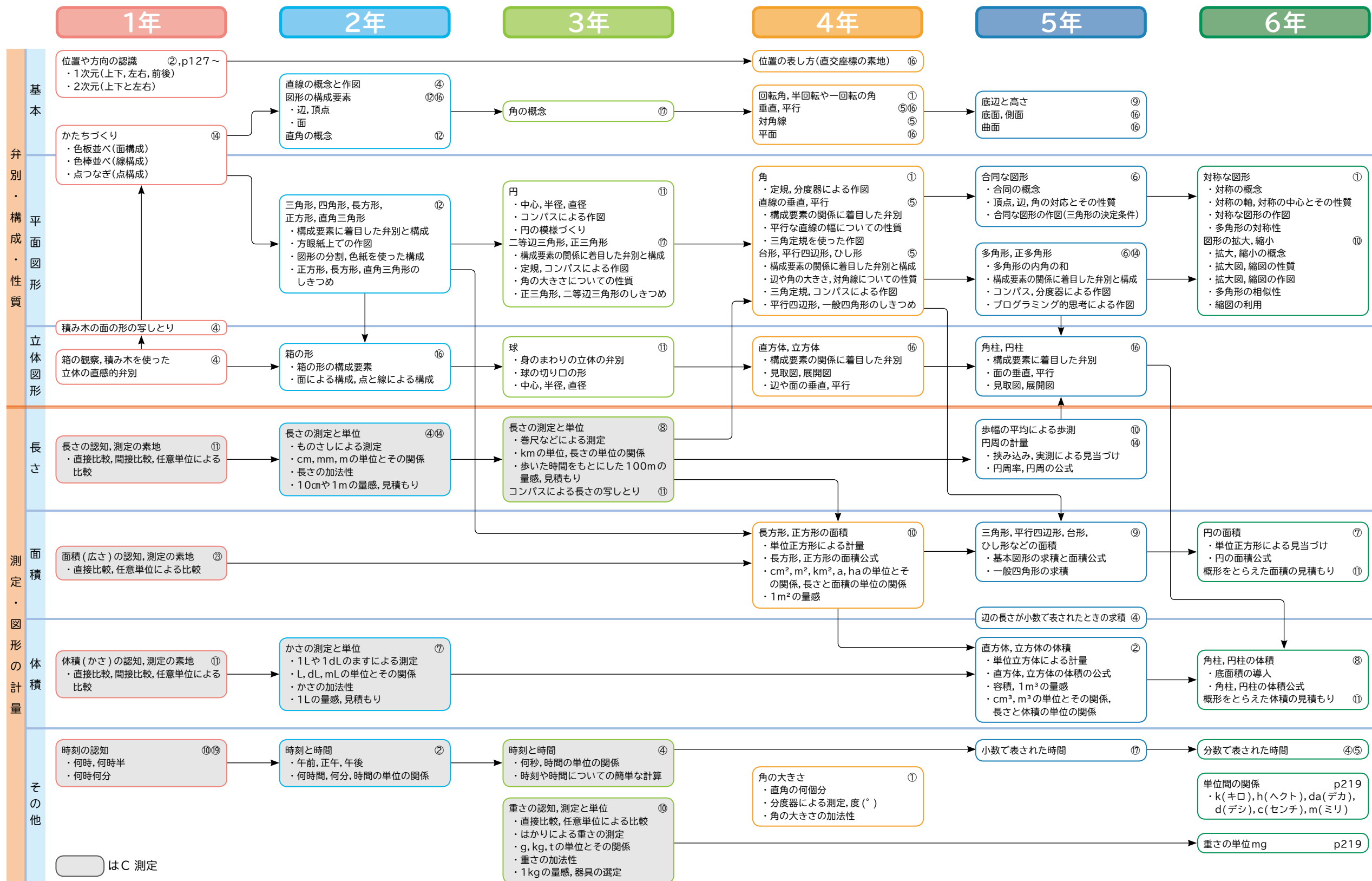
			単元名	学習指導要領との対応	該当箇所	配当時数
前期 77時間 (予備時数13時間)	1学期 56時間 (予備時数9時間)	4月	★わくわく算数学習	㊦2(1)	p.6-9	1
			1.対称な図形	B(1) ア(イ) イ(ア)	p.10-25	9
		5月	2.文字と式	A(2) ア(ア) イ(ア)	p.26-35	7
			3.分数×整数, 分数÷整数	A(1) ア(ア)	p.36-39	2
			*復習	㊦(2) ㊦1(2)	p.40-41	1
		6月	4.分数×分数	A(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) ㊦(1)(2)	p.42-57	13
			5.分数÷分数	A(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) ㊦(1)(2)	p.58-71	11
	2学期 56時間 (予備時数9時間)	7月	6.資料の調べ方	D(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.72-87	9
			◎どんな計算になるのかな	㊦2(1)	p.88-89	1
		9月	◎算数の自由研究	㊦2(1)	p.90-91	1
			*復習	㊦(2) ㊦1(2)	p.92-93	1
			7.円の面積	B(3) ア(ア) イ(ア) ㊦(3)	p.94-103	5
		10月	8.立体の体積	B(4) ア(ア) イ(ア)	p.104-111	5
			9.比とその利用	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.112-123	8
後期 64時間 (予備時数14時間)	3学期 29時間 (予備時数11時間)	10月	◎表を使って考えよう(1)	㊦2(1)	p.124-125	2
			*復習	㊦(2) ㊦1(2)	p.126-127	1
		11月	10.図形の拡大と縮小	B(1) ア(ア) イ(ア)	p.128-143	10
			11.およその形と大きさ	B(2) ア(ア) イ(ア)	p.144-147	2
		12月	12.比例と反比例	C(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)	p.148-177	17
			◎表を使って考えよう(2)	㊦2(1)	p.178-179	2
			◎見積もりを使って	㊦2(1)	p.180-181	2
	4学期 35時間 (予備時数11時間)	1月	◎算数ラボ	㊦2(1)(2)	p.182-183	1
			*復習	㊦(2) ㊦1(2)	p.184-185	1
		2月	13.場合を順序よく整理して	D(2) ア(ア) イ(ア)	p.186-197	9
			◎図を使って考えよう	㊦2(1)	p.198-201	2
		3月	◎すごろく	㊦2(1)	p.202-203	1
			◎みらいへのつばさ	㊦2(1)	p.204-207	2
			*6年のまとめ	㊦1(2)	p.208-233	15
後期 64時間 (予備時数14時間)	3学期 29時間 (予備時数11時間)	3月	★ひろがる算数	㊦2(1)(3)	p.234-248	—
			★学びのサポート	㊦1(2) 2(1)(3)	p.249-297	—
		3月	◎図を使って考えよう	㊦2(1)	p.198-201	2
			◎すごろく	㊦2(1)	p.202-203	1
		3月	◎みらいへのつばさ	㊦2(1)	p.204-207	2
			*6年のまとめ	㊦1(2)	p.208-233	15
			★ひろがる算数	㊦2(1)(3)	p.234-248	—
	4学期 35時間 (予備時数11時間)	3月	★学びのサポート	㊦1(2) 2(1)(3)	p.249-297	—
			◎図を使って考えよう	㊦2(1)	p.198-201	2
		3月	◎すごろく	㊦2(1)	p.202-203	1
			◎みらいへのつばさ	㊦2(1)	p.204-207	2
			*6年のまとめ	㊦1(2)	p.208-233	15
		3月	★ひろがる算数	㊦2(1)(3)	p.234-248	—
			★学びのサポート	㊦1(2) 2(1)(3)	p.249-297	—

㊦…内容の取扱い ㊦…第3 指導計画の作成と内容の取扱い

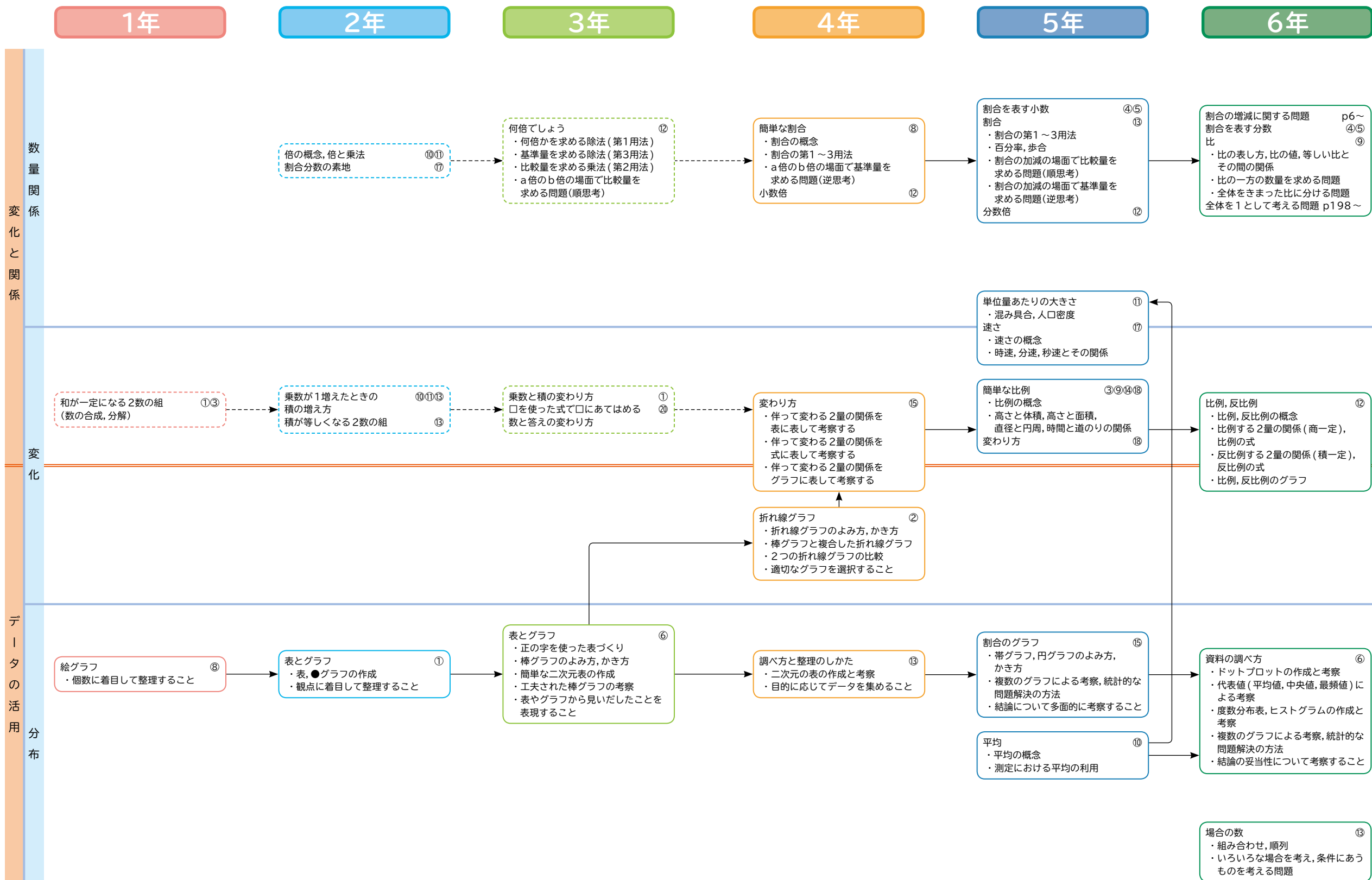
年間 計141時間
(予備時数 34時間)
※標準時数 175時間

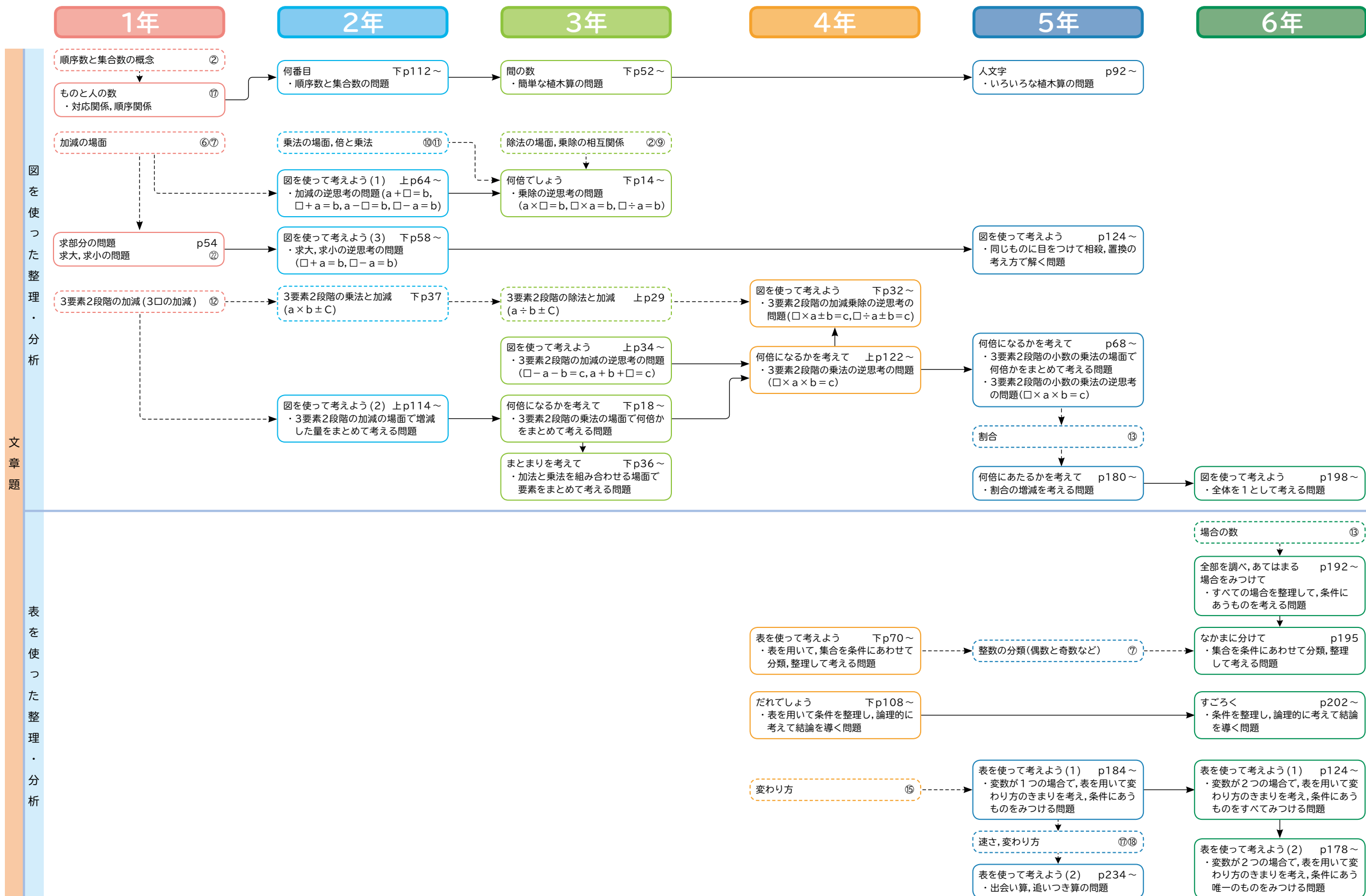






はC 測定





わくわく算数

観点別特色一覧表

(1)学習指導要領への対応

項目	観点	特色	事例
1 目標と取り扱い内容	①学習指導要領改訂の趣旨を踏まえつつ、教科書の改訂がされているか。	①数量や図形などについての基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、数学的な思考力・判断力・表現力等を高めるなど、数学的に考える資質・能力を育成し、児童にとってより学びやすく、指導者にとってより指導しやすくなるように、教科書の構成・展開が見直されている。	●すべての児童が学習する必修内容の『本編』と、個に応じて取り組める選択内容の『学びのサポート(じゅんび・もっと練習・算数資料集)』との2部構成になっており、一人ひとりの学びに対応できるように配慮されている。 【例】2上p.121～／3下p.115～／4上p.139～／5年p.247～／6年p.249～ など ●巻頭に『教科書の使い方』『学習の進め方』『わくわく算数学習』『わくわく算数ノート』が設けられ、問題解決型の学習を通して、自分の考えを書いたり話したりして理解が深まっていくことを体得しながら、よりよく考える資質・能力を伸ばしていくことができるように配慮されている。また、巻末『学びのサポート』の『算数資料集』には、『わかりやすい説明の仕方』『図のかき方』『算数でよく使う考え方』などが整理して掲載されている。 【例】2上p.2-9, 136-139／3上p.2-9, 148-151／4上p.2-9, 158-162／5年p.2-9, 280-285 など ●解決の見通しをもったり、その過程を振り返ったりして児童が主体的に学習を進められるように、学習の『めあて』や『まとめ』が設定されている。『めあて』につながる児童の主体的な考えや気づきは、『🍀 学びのめばえ』として強調されている。 【例】2上p.118-119／3上p.42-43／4下p.6-7／5年p.62／6年p.134-135 など ●5, 6年では、「全体の中で、統合的・発展的に関係性をとらえることのできる子ども」像を想定し、児童自身が1年間の学習を見通したり、既習内容を振り返ったりしながら学習が進められるように、年間1冊の合冊で構成されている。2～4年は発達の段階を考慮して上下巻の分冊で構成されている。学習内容の少ない1年は、前の学習を手本にしながら新しい学習を進めるというスタイルを取りやすいように合冊で構成されている。 ●年間配当時数が160時間以内(1年は127時間)で、標準時数よりも余裕をもたせて無理なく学習を進められる設定がなされている。
	②算数科の目標をどのようにとらえて編集されているか。	②児童の深い学びと知的で質の高い活動を支える資質・能力を最大限に伸ばすことを基本にすえて、次の3点が具体的な目標として設定されている。 ・主体的に算数を生活や学習に生かし、日常の事象を数理的に処理する基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得すること。 ・見通しをもち筋道を立てて考える力を育て、ものごとを合理的によりよく考え、問題解決の過程や結果を適切に評価・改善できる力を養うこと。 ・新しいものごとを創造しようとする態度、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度などを養うこと。	●児童の主体的な学びを支えるために、児童の関心・問題意識を高める工夫や児童が自ら考え調べる活動の設定などがされている。その上で、新しい知識・技能を獲得し確実に定着できるように、『練習』『たしかめよう』『もっと練習』などが設定され、一人ひとりの学びに応じることができるように配慮されている。 【例】2上p.29(練習), p.32(たしかめよう), p.128(もっと練習) など ●数学的に考える資質・能力を育成するため、数学的な見方・考え方を働かせて考える場面が各単元に設定されている。さらに、筋道立てて考える力を一層伸ばすために、『🍀 学びを深めよう』が設定され、問題解決の際に有効な考え方(思考法)や図・表などのかき方(基礎操作)が系統的に取り上げられている。 【例】2上p.116-117／3上p.36-37, 3下p52-53／4下p.32-33／5年p.184-185／6年p.178-179 など ●学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする創造的な態度や学んだ算数を生かそうとする態度を培えるように、獲得した知識・技能を活用する機会が多く設定されている。単元末や学期末には、様々な素材を扱った豊かな活用の場面『学びをいかそう』が設けられている。 【例】1年p.103, 2上p.33, 6年p.143(やってみよう)／3上p94-95(算数の自由研究)／4上p.98-99(算数ラボ)／5年p.92-97(わくわく算数ひろば)／5年p.186-187(見積もりを使って)／5年p.238-239(よみとろう) など
	③児童が数学的な見方・考え方を働かせ、主体的に数学的な活動に取り組むなどの学習の質を向上させることに配慮されているか。	③児童が問題意識をもって主体的に算数に取り組めるように、日常生活から問題を見いだすなどの数学的活動が積極的に取り入れられている。	●新しい学習にはいる単元導入段階では、日常生活や既習の学習と関連付けて、児童自らが課題意識や見通しをもって学習に取り組める場面(単元とびら)を設定することにより、児童の主体的な学習を引き出す工夫がされている。 【例】2上p.88／3上p.10／4上p.38／5年p.112／6年p.112 など ●各時間の学習に『めあて』や『まとめ』が設定され、児童が見通しをもったり振り返ったりしながら主体的に学習が進められるように配慮されている。 【例】2上p.53／3上p.26／4下p.2-4／5年p.38-39／6年p.38-39 など
	④児童が数学的な見方・考え方を働かせ、対話的な学びを通して考えを交流させながら、学びを深めていけるように配慮されているか。	④解決にいたる過程と考え方を説明する活動や判断の拠り所について話し合う活動などの言語活動が系統的に扱われ、数学的な思考力・表現力や主体的・協働的に探究しようとする態度などが身につくように配慮されている。	●1年の巻末に『かぞえかた』として助数詞の一覧が掲載されており、ものの正確な数え方が身につくように配慮されている。 【例】1年p.172-173 ●2年以上の巻頭には、『学習の進め方』『わくわく算数学習』を続けて設定し、『みんなで話しあおう』として対話による考えの交流のようすが具体的に示されている。さらに、その直後には、『わくわく算数ノート』が掲載され、書いて考えを深める力の育成に役立つように配慮されている。 【例】2上p.4-9／3上p.4-9／4上p.4-9／5年p.4-9／6年p.4-9 ●2年以上の巻末に設定された『算数資料集』『わかりやすく説明しよう 友だちの考えをよく聞こう』では、考えを伝えるときのわかりやすい説明の仕方がまとめられ、筋道立てて説明する力やポイントを押さえて聞く力などを育成できるように配慮されている。 【例】2上p.136-137／3上p.148-149／4上p.158-159／5年p.280-281／6年p.276-277 ●新しい演算を学習した後は、いくつかの演算が混じった『どんな計算になるのかな』(1年は『たすのかな ひくのかな』)を設定して、演算決定の根拠を説明する言語活動が系統立てて扱われている。 【例】1年p.148-149／2上p.96-97／3上p.92-93／4下p.56-57／5年p.94-95／6年p.88-89 など
	⑤数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につくように配慮されているか。	⑤児童の思考と学習展開に大きなへだたりが生じないようにスモールステップの展開になっているなど、基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着できるように配慮されている。	●道具の使い方や作図の仕方などは、手順を細かく分割した連続写真(必要に応じて動画等も用意)を用いて提示してあり、基本的な知識・技能が確実に身につくように配慮されている。 【例】2上p.40-41(直線のかき方)／3下p.4-5(コンパスの使い方)／4上p.72-73(垂直・平行な直線のかき方) など ●低学年の計算領域では、練習問題の第1問目が主問題に極めて近い問題に設定されており、細かいステップをふんで知識・技能が確実に身につくように配慮されている。 【例】2上p.51④「34+28」→⑤①「34+29」／3上p.39①「154+237」→②①「154+218」 など ●各単元末の「たしかめよう」には観点別評価問題が設定され、各問題の設定意図と対応する本文の該当ページを示して知識・技能が確実に身につくように配慮されている。 【例】2下p.78／3上p.73／5年p.122 など ●本文ページの練習問題に加えて、巻末に2段階のレベルの『もっと練習』が設けられ、習熟度別学習など、実態に応じて柔軟に補充できるように配慮されている。関連する『もっと練習』の問題は本文のページ下部とリンクしていて、適宜扱えるようになっている。 【例】2下p.8→巻末「もっと練習」p.126 など ●各学期の中間・期末にあたる時期に『復習』が設定され、その学年や前の学年の内容だけでなく、習熟が必要な計算問題などはさらに前の学年に遡って取り上げられ、基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着するように配慮されている。また、全国学力調査等で正答率の低かった問題には★マークをつけて、意識して取り組めるように工夫されている。 【例】3上p.50-51／6年p.92-93 など

項目	観点	特色	事例
	⑥数学的活動を通して、見通しをもち筋道立てて考察する、考察したことをわかりやすく説明するなどの数学的な思考力・判断力・表現力等が育つように配慮されているか。	⑥児童が自分で考えて解決する場面が設定され、それを促進・継続する工夫を多く施すなどして、自力解決を通して数学的な思考力・判断力・表現力等の資質・能力が伸ばせるように配慮されている。	●思考の助けとなる図、表、式などを多く例示し、話し合いの場面では、根拠や手順などを説明する活動を通して数学的な思考力や表現力の育成が図られている。 【例】2下p.58-59／3上p.34-35／4下p.32-33／5年p.124-125／6年p.124-125 など ●『🧐学びを深めよう』では、問題解決の際に有効な考え方(思考法)や図、表などのかき方(基礎操作)が丁寧に記述しており、児童がそれらを使って問題を解決する力が伸ばせるように配慮されている。 【例】2上p.66-69, 116-117／3上p.34-35／4下p.32-33／5年p.234-235／6年p.178-179 など ●4年以降では、算数・数学で大切となる「類比」「帰納」「演繹」の考え方が、それぞれ「にている」「きまり」「もどる」のロゴをつけて示され、巻末にはそれらが『算数でよく使う考え方』としてまとめられており、児童が問題解決の際に活用できるように配慮されている。 【例】4上p.94, 130-131, 4下p.78, 136／5年p.36, 282-283／6年p.178-179, 278-279 など
	⑦数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、学んだことを生活や学習に活用しようとする態度が育つように配慮されているか。	⑦身に付けた知識を総合的に活用する場面が設けられるなど、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを主体的に生活や学習に活用しようとする態度(学びに向かう力)の育成が図られている。	●児童の主体的な学びとなるように、課題発見につながる子どもの考えや気づきを『🌱学びのめばえ』として取り上げている。 ●多様な考え方を充実させ、話し合いの場面も適宜設定することで、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにしている。また、そのモデルが巻頭の『わくわく算数学習』で示されている。 ●既に学習した方法と同じように考えを進めていける場面には[🌟自分の力で]というマークがつけられ、児童が主体的に学習を進めていけるように配慮されている。 【例】2下p.31／3上p.47／4上p.45／6年p.22-23 など ●3年以上には、学んだことを活用して身の回りの生活改善をPDCAサイクルに則って計画し、実践する『みらいへのつばさ』が設けられている。 【例】3下p.106-109(健康)／4下p.110-113(環境)／5年p.238-241(食育)／6年p.204-207(国際協力) ●活用のページとして、『算数ラボ』『算数の自由研究』などが設定され、探究的学習を実践しようとする態度が育つように配慮されている。 【例】3上p.94-95, 3下p.54-55／4上p.98-101／6年p.90-91, 182-183 など ●『みらいへのつばさ』『どんな計算になるのかな』『やってみよう』『さがしてみよう』などで、日常生活に算数の知識・技能を活用する活動が設定されている。 【例】3上p.92-93, 3下p.11, 35, 106-109／6年p.19, 35, 204-207 など ●単元末の『ふりかえろう』には、単元全体を通した総括としての感想をかく場が設定され、算数のよさを感じ得し、進んで活用しようとする意欲や態度が育成できるように配慮されている。 【例】2上p.47, 61／4下p.17, 31／6年p.25, 35 など
	⑧必要なデータを収集・分析し、その傾向を踏まえて課題を解決するなど、社会の進展や変化に対応できる能力や態度を身に付けられるように配慮されているか。	⑧多種の情報の中から必要な情報を取り出して、そこから読み取れることを的確に解釈し関連づけるなどの統計的な問題解決の場面が扱われている。	●情報を適切に解釈し、取捨選択したり、また関連づけたりするなどの力が養えるように、活用のページ『みらいへのつばさ よみとろう』では、資料や長文のよみとりが取り上げられている。 【例】3下p.106-107／4下p.110-111／5年p.238-239／6年p.204-205 ●複数系列のグラフ(2本の折れ線グラフ)や組み合わせたグラフ(棒グラフと折れ線グラフ)に関する内容の新設など、統計的な学習内容の改善・充実が図られ、問題を統計的に解決する力がつくように配慮されている。 【例】4上p.34-35, 37／5年p.204-205 など
	⑨プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための学習活動への配慮がされ、コンピュータ等を活用することで、児童の理解がより深まるような工夫があるか。	⑨児童が計算処理や作図におけるアルゴリズムを体験したり、コンピュータを活用して簡単なプログラムを構成したりしながら、論理的な思考力を身につけられるような場面が設定されている。	●プログラミング的思考が育めるような内容について、その初出場面に[📐]のマークがつけられ、児童も教師も意識できるように配慮されている。 【例】1年p.127／3上p.39／4上p.40-41／5年p.102, 236-237／6年p.96, 182-183 など ●4年『1けたでわるわり算の筆算』では、プログラミング的思考として、わり算の筆算のアルゴリズムの手順が強調され、最後に「おろすものがなくなると、おわり」という吹き出しが示されている。 【例】4上p.40-41
2 指導計画作成上の配慮事項	①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のための配慮がされているか。	①自分で考えたり調べたりして、深くわかったときの喜びや学びをつくりあげるおもしろさを味わうことを大切に、価値ある数学的活動が積極的に取り入れられている。	●単元導入などは、日常の事象や既習事項から問題を見いだすような場面になっており、問題解決を通して理解が深まっていくように構成されている。『学びをいかそう』では、日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動が取り入れられている。 ●『図を使って考えよう』の単元等で図の見方やかき方が丁寧に扱われ、巻末の算数資料集にも『図のかき方』を掲載するなど、数学的活動の一層の充実に向けての配慮がなされている。 【例】2上p.64-65, 138-139／3上p.34-35, 150-151／4下p.32-33, 134-135／5年p.124-125, 284-285 など ●『学びをいかそう やってみよう』では、学習したことを算数や生活に生かして、算数の有用性を実感できるように配慮されている。 【例】3上p.33, 57, 129／4上p.37, 64, 135／5年p.27, 51, 73／6年p.25, 35, 111 など ●『算数ラボ』では、学習したことを基に実際の活動を通して確かめることによって、算数の面白さを実感できるように配慮されている。 【例】3下p.54-55／4上p.98-99／5年p.236-237／6年p.182-183
	②知識・技能などの定着と維持を図るために、継続的な指導や学年間の円滑な接続のための配慮がされているか。	②繰り返し指導や反復(スパイラル)などの継続的な学習を通して、知識・技能が定着・維持できるように配慮されている。	●2年以降では、学習する単元の内容に関連する既習事項が巻末に『じゅんぴ』として取り上げられ、新しい単元に入る前にレディネスチェックできるように配慮されている。 【例】3上p.104「あまりのあるわり算」の前にp.137で「わり算の意味やその計算」を扱う／5年p.128「面積」の前にp.251で「長方形・正方形の面積」や「四角形の性質」を扱う など ●各学期の中間・期末にあたる時期に『復習』を配置して、その学年や前学年の内容だけでなく、習熟が必要な計算問題などはさらに前の学年に遡って取り上げ、定着・維持ができるように配慮されている。 【例】3上p.50-51／6年p.92-93 など ●各時間の練習問題・適用問題に加えて、巻末に2段階のレベルの『もっと練習』のページが設定され、個に応じて知識・技能の定着と維持が図れるように配慮されている。 【例】2上p.126-135／3下p.120-129／6年p.256-275 など
	③複数領域の内容を関連づけて活用するなどの配慮がされているか。	③ある領域で学習した内容を他領域での学習場面で活用するなど、複数の領域間の指導の関連が図られている。	●「C 測定」領域(1～3年)の学習内容は、4年以降においても活用されている。 ●『小数のかけ算』の学習で、既習の面積や体積の公式を取り上げ、小数に拡張しても図形の公式が使えることを調べる場面がある。また、面積や円周の学習で、比例の関係を調べる場面がある。 【例】5年p.44-45, 147, 198／6年p.33, 50-51 など
	④保育園・幼稚園や中学校との連携について配慮されているか。	④小1プロブレムや中1ギャップへの対応、中学校でつまずきやすい内容について配慮し、保育園・幼稚園や中学校との円滑な連携が図られている。	●スタートカリキュラムに対応して、1年巻頭に『わくわく すたあと』が設定されている。『わくわく すたあと』は、書き込みやすい特別な用紙が使われ、内容が3段階のアイコンで示されている。 【例】1年表見返～p.17 ●5, 6年では、年間1冊という中学校と同じ合冊の形態をとっており、中学校での学習形態の素地経験ができるように配慮されている。また、中学校で学習する内容についても『数学へのとびら』や『中学校で学ぶ「数学」の簡単なかき方』で触れられている。 【例】5年p.111／6年p.228-230 ●中学校でつまずきが多く見られる文字式については、小学校で素地となる内容が1～6年を通して、具体から徐々に抽象化するように系統的に取り扱われている。 【例】2上p.29(口に色々な数字カードをあてはめて計算する)／3下p.94-99(口を使った式)／4下p.88(言葉の式→⑤, ⑥を使った式→○, △を使った式)／5年p.228-233(表→○, △を使った式)／6年p.26-35(文字を使った式) など

項目	観点	特色	事例
	⑤特別支援教育，色覚特性，人権，福祉，ジェンダー，国際理解などへの配慮がされているか。	⑤特別な支援や配慮を必要とする児童にとっても分かりやすくなるように構成されている。また，色覚特性，人権などの専門家の監修のもと，社会的な人権差別や性差別を助長することがないように配慮されている。	●認識しやすい文字(ユニバーサルデザインフォント)を使用する，主問題や重要文を枠で囲んで見やすくする，1文節が2行にまたがらないようにして読み取りやすくする，学習の『めあて』や『まとめ』を明記するなど， <u>ユニバーサルデザインを採用</u> しており，すべての児童が支障なく学習できる環境づくりを目指す <u>インクルーシブ教育に対する配慮</u> がされている。 【例】3上p.67／5年p.118-119／6年p.124-125 など ● <u>拡大教科書や，文字の拡大・色反転・読み上げ機能等のあるデジタル教科書を用意</u> し，多様な子どもたちの学習に対応できるようにしている。 ●判別しにくい配色を避けたり，シンプルなイラストを扱うなどの <u>カラーユニバーサルデザイン(CUD)</u> が採用され，色覚特性をもつ子どもに対する配慮がされている。 【例】2上p.44（2本の道に記号をつける），2下p.92（位取り板の配色） など ●登場するキャラクターなどの性別で役割や言葉遣いを区別しない，女性は赤色・男性は青色といった固定的なイメージで性の区別をしない，男女の比率を均等にするなどの配慮がされている。 ● <u>他国の文化を紹介する題材や国際協力についての題材，オリンピック・パラリンピック教育につながるような題材</u> を取り上げている。 【例】3下p.54-55, 73／6年p.66, 204-207 など
	⑥道徳の時間などとの関連について，算数科の特質に応じた配慮がされているか。	⑥算数科の特質に応じて，物事を多面的・多角的に考える資質・能力を育成するとともに，道徳的な観点の素材が多く取り扱われている。	●説明する場面や話し合いの場面では， <u>自分の考えや意見を相手に伝えるとともに，自分と異なる意見や立場も尊重</u> できるように配慮されている。また，他者の考えを尊重する，協働してよりよい考えを追究する態度につながる「 <u>です・ます</u> 」調の丁寧な言葉遣いをするなど，教科書全体にわたり道徳教育や人権教育への配慮がされている。 【例】3上p.6-7／4上p.6-7 など ●「町内のそうじ」や「ペットボトルのキャップ集め」などのボランティア活動を取り上げ， <u>公共に寄与する態度が養える</u> ように配慮されている。 【例】2上p.48／5年p.154 など
	⑦学習を豊かにするためのICTの利活用に配慮されているか。	⑦ICTの利活用が有効な場面では紙面にQRコードを掲載し，児童の学習を豊かにするようなコンテンツを準備している。	● <u>紙面にQRコードを掲載し，ICT機器を使った学習のサポート</u> ができるような動画，補充問題等の参考情報を準備している。特に，単元の入口には，『じゅんぴ』に関する情報が，単元の出口には，『たしかめよう』に関する情報が用意されている。（QRコード対応機器以外でもデジタル教材を活用できるように裏表紙にURLが記載されている。） 【例】1年p.2, 10, 93／2上p.10／3上p.10, 43／4上p.10／5年p.10, 225／6年p.10, 45 など

(2)教科書の構成上の工夫

項目	観点	特色	事例
1 資質・能力の育成・向上への対応	①算数に対する興味・関心を高め，学ぶ意義を児童が感じられるような配慮がされているか。	①日常生活への算数の活用を通して，算数の有用性を実感できるように配慮されている。また，キャリア教育に対応したページも設定されている。	●『みらいへのつばさ』『どんな計算になるのかな』『やってみよう』『さがしてみよう』などが設定され， <u>算数と日常生活との関わりを実感</u> しながら学習が進められるように配慮されている。 【例】1年p.138／2下p.47／3上p.92-93, 3下p.11, 35, 106-109／4下p.100-102／5年p.225／6年p.19, 35, 171, 204-207 など ● <u>キャリア教育に対応した6年巻末の『ひろがる算数』は，様々な職業の人に算数・数学がどのように役に立つかをインタビュー</u> した内容が掲載され，児童自身が算数の有用性と学ぶ意義について考え，中学校以降の学習に興味・関心をもてるように配慮されている。 【例】6年p.234-248
	②各種学力調査への対応について配慮されているか。	②基礎・基本の問題はもちろん，全国学力・学習状況調査などで求められるPISA型読解力を育成する場面が多く設定され，数学的な思考力・判断力・表現力が育つように配慮されている。	●過去に出題された <u>全国学力・学習状況調査問題の研究・分析</u> により，定着しにくい基礎的・基本的な問題は学年を越えて繰り返し扱う，活用の問題を多く取り上げるなど，つまずきやすい内容が確実に身につくように配慮されている。また，高い無解答率への対処として，理由などを記述する場面が随所に設けられている。 【例】4下p.59⑥②面積が等しくなる理由／5年p.72⑤問題を正しく表した図の選択 など ●『みらいへのつばさ よみとろう』で，文章やグラフ・表などの読解と思考・判断の根拠などを説明する問題を扱い，連続型テキスト，非連続型テキストなどの <u>PISA型読解力が養えるように配慮</u> されている。 【例】2下p.114-115／3下p.106-107／4下p.110-111／5年p.238-239／6年p.204-205 ●全国学力・学習状況調査で課題が明らかになった「割合」に関する <u>指導についての系統が大幅に見直され</u> ，学年の段階に応じて適切に配列されている。 【例】3下p.14-19／4上p.118-123, 160, 4下p.50-51／5年p.48-49, 172-183, 200-209／6年p.6-7 など
	③家庭学習や授業時間外などの自学自習を通じて学習習慣が身につくように配慮されているか。	③児童が自ら取り組む際のヒントになる手立てを示すなど，自学自習のための配慮がされている。また，家庭学習についても，保護者の協力のもと学習習慣をつけられるように配慮されている。	●学習習慣が確立できるように， <u>自学自習ができる教材が巻末の『学びのサポート』に多く掲載</u> されており，土曜日授業や授業時間外の学習の教材としても扱うことができるように配慮されている。 【例】2上p.121～／3上p.133～／4上p.139～／5年p.247～／6年p.249～ など ●本文ページの最下部に『もっと練習』へ導くリンク先のページ番号が示されていることや，解答が掲載されていることで， <u>家庭学習などに対応</u> できるように工夫されている。 【例】2下p.8／3上p.15／5年p.12 など ● <u>2年生以上の夏休み直前に『算数の自由研究』が設定</u> され，児童が自由研究に取り組みながら，自主的に探究していけるように配慮されている。 【例】2上p.98-99／3上p.94-95／4上p.100-101／5年p.96-97／6年p.90-91 ● <u>各学年の裏表紙に保護者へのメッセージ</u> が掲載され，保護者の協力のもとで家庭での学習習慣を身につけられるように配慮されている。 【例】各学年裏表紙
	④少人数学習・習熟度別学習など個々の児童の理解の程度に応じた学習への配慮はされているか。	④児童の興味・関心や進度などに応じて柔軟に扱える教材を用意するなど，個に応じた学習が進められるように工夫されている。	●少人数学習や習熟度別学習としても扱える学習課題として，巻末の『学びのサポート』に様々な教材が用意されている。 <u>『じゅんぴ』でレディネスチェック</u> が行えたり，『もっと練習』で <u>基本の補充問題と少しレベルの高い挑戦問題</u> に取り組みたり，習熟度や個に応じて選択して学習を進められるように配慮されている。 【例】2上p.121～／3下p.115～／4上p.139～／5年p.247～／6年p.249～ など ●学習指導要領の範囲外などの発展的な内容については「  」のマークが付され，児童の興味・関心に応じて学習が進められるように配慮されている。 【例】／2下p.79／3下p.46／4上p.65 など
	⑤児童自身の自己評価や相互評価など，評価活動についての配慮はなされているか。	⑤学習者の立場からは自己評価や相互評価に役立ち，指導者の立場からは3つの観点での評価に役立つページが設定されている。	●各単元末の『たしかめよう』では，問題の設定意図と関連ページを示す，チェックボックスを設ける，4年以上には解答を掲載するなどにより， <u>児童自身の自己評価や相互評価などができるよう</u> 配慮されている。 【例】1年p.102-103／2上p.32-33／3上p.32-33／4上p.36-37／5年p.50-51／6年p.70-71 など

項目	観点	特色	事例
	⑥カリキュラム・マネジメントへの対応が配慮されているか。	⑥3学期制はもとより、2学期制など柔軟なカリキュラムへも対応できるように配当時間数および単元の配列が配慮されている。	●3学期制、2学期制いずれの場合にも、 <u>学期の切れ目が単元途中にならないように単元配列が配慮</u> されている。 ●学期末には『 <u>復習</u> 』と『 <u>わくわく算数ひろば（活用単元）</u> 』を設定して、学期のまとめとして扱えるように工夫されている。 ●『 <u>練習</u> 』『 <u>復習</u> 』は3つのブロックに分けて構成し、 <u>短時間学習・モジュール型学習にも対応</u> できるように構成されている。 【例】2上p.62-63／5年p.43, 98-99 など ●余裕をもたせて各学期の時間配当をするなど、カリキュラムの変更にも対応できるよう配慮されている。
	⑦他教科および総合的な学習の時間との関連について配慮されているか。	⑦教材の選定にあたっては、算数だけでなく、他教科との連携も十分に配慮されている。	●次にあげる例のように、他教科との関連に配慮がされている。 【国語】1年巻末に助数詞の一覧表が掲載され、正しくものが数えられるように構成されている。3年以降の上巻末には、2年国語科で学習する「はじめに」「次に」「だから」などの接続詞がまとめて掲載されている。 【例】1年p.172-173／3上p.149 など 【社会】『都道府県の人口』『世界の国々の人口』『県予算,国家予算』『ごみの処理』などが題材として取り扱われている。 【例】3上p.61／4上p.54-56 など 【理科】4年の『折れ線グラフ』単元が早い時期に設定され、理科での実験・観察に活かせるようになっている。また、バテルギウスや古生代の生物などが取り上げられている。 【例】4上p.26-27／5年p.227／6年p.242-243 など 【生活】1年『わくわく すたあと』は、スタートカリキュラムに配慮し、生活科の学校探検と密接にかかわらせながら楽しく算数が学べるようになっている。 【例】1年表見返～p.17 【音楽】ピアニストによる算数の話が載せられている。 【例】6年p.238-239 【図工】アーティストによる算数の話が載せられている。 【例】6年p.236-237 【家庭】『オーロラソースづくり』などが題材として取り上げられている。 【例】6年p.112-113, 244-245 【体育】『好きなスポーツ』や『ソフトボール投げの記録』などが題材として取り扱われている。 【例】4下p.108／6年p.72-73, 240-241 など 【外国語】シドニーの気温や世界の人口などを題材として取り扱い、ごみをへらすための3つの「R」が英語の頭文字をとったものであることが紹介されている。 【例】4上p.34, 54-55 など
	⑧我が国の伝統文化の尊重への配慮がなされているか。	⑧我が国の伝統文化を尊重するという立場にふさわしい内容が扱われている。	●世界遺産の『平等院鳳凰堂』や伝統工芸の『金箔づくり』など、 <u>伝統文化の尊重にふさわしい内容</u> が取り上げられている。 【例】4上p.10, 138／5年p.94-95／6年p.10-11, 144 など
2 内容の程度と教材・素材	①学習内容の理解を図る工夫がされているか。	①内容の理解が図れるよう、児童の発達段階や内容の系統性に考慮するなど教材や展開の仕方が工夫されている。	●単元導入では、既習の内容をもとに発展的に考えていける題材が多く選ばれている。また、 <u>単元の最後に『ふりかえろう』として、これまでに学習したことを統合的・発展的に見直す機会</u> が設けられている。 【例】3上p.58／4上p.34／5年p.123／6年p.123 など ●新しい演算を学習した後は、複数の演算が混じった『 <u>どんな計算になるのかな</u> 』（1年は『 <u>たすのかな ひくのかな</u> 』）が設定しており、 <u>演算の意味理解が深まる</u> ように配慮されている。 【例】1年p.148-149／2上p.96-97, 2下p.62-63／3上p.92-93／4下p.56-57／5年p.94-95／6年p.88-89 ●巻末に『 <u>もっと練習</u> 』として、 <u>各単元の『練習問題』『挑戦問題』をまとめて配置</u> することで、学習内容の確実な定着ができるように配慮されている。 ●用具の使い方や作図の仕方などが見開きで連続写真等を用いて丁寧に示され、確実に身につくように配慮されている。 【例】2上p.40-41（直線のかき方）／3下p.4-5（コンパスの使い方）／4上p.72-73（垂直や平行な直線のかき方）／5年p.80-81（合同な三角形のかき方） など ●1年の時刻のよみに関する内容は『なんじ なんじはん』と『なんじなんぶん』の2つの単元に分けて、数の範囲の拡張に合わせてステップをふみながら、時計の長針と短針に着目して学習が進められるように構成されている。 【例】1年p.80-81, 144-146 ●6年の『比例と反比例』については、5年で学習した『比例』で定義をまとめた後に「対応に着目した見方」で性質を加えていく展開として丁寧に扱われている。反比例についても、比例と対応させながら理解しやすいよう構成されている。 【例】6年p.150-151, 168-171
	②技術的・技能的な教材においても、思考力を伸ばせるよう工夫されているか。	②技能面の定着を図る教材においても、思考力や判断力を伸ばせるよう配慮されている。	●計算技能においては、大きな計算間違いを防ぐ手立てとして、 <u>数の大きさの感覚を働かせて正誤を判断すること（結果の見積もり）も適切に取り上げている</u> 。 【例】2上p.26（だいちの吹き出し）、30（ひなたの吹き出し）／4上p.49（ひなたの吹き出し）／5年p.186-187 など ●1～3年では『 <u>買えますか？ 買えませんか？</u> 』で、 <u>概数や見積もりの素地</u> として、日常生活と関連のある品物がある金額で買えるか否かを判断する活動を通して大まかに数をとらえる力を養い、4年以上では『 <u>見積もりを使って</u> 』で、 <u>概数・見積もりを活用して総合的な判断ができる</u> ように配慮されている。 【例】1年p.160-161／2下p.64-65／3下p.104-105／4下p.54-55／5年p.186-187／6年p.180-181 ●整数や小数・分数の計算では、その意味となる位取り記数法の仕組み、数や式の見方などが丁寧に示され、 <u>計算の意味理解が深められる</u> ように配慮されている。 【例】2上p.49-50／3下p.79／4下p.78／5年p.36-37／6年p.44 など
	③環境問題、食育、防災、ESDやSDGsなど今日的な社会問題への配慮がされているか。	③環境の保全、健康、防災などに寄与する態度を養うための教材が多数扱われている。	●『みらいへのつばさ』などで、 <u>健康,環境保全,食育,国際協力,防災などの題材</u> が取り上げられている。 【例】3下p.106-109（健康）／4下p.110-113（環境保全）／5年p.238-241（食育）、p.157（防災）、p.206-207（防災）／6年p.204-207（国際協力） など ●統計の素材として、エネルギー統計や人口統計などが取り上げられている。 【例】5年p.204-205（エネルギー）／6年p.82-83（人口）
	④地域的な偏りのない素材が選ばれているか。	④素材は、特定の地域だけを集中的に取り上げることがないように、広範囲にわたって選ばれている。	●教材として取り上げられた地域は全国にわたっている。 【例】2上p.21／3上p.58, 61, 62, 64, 72／3下p.63／4上p.34-35, 56, 66, 88, 90, 93, 97／4下p.13-15, 20-26, 56, 69, 110-111／5年p.12-14, 94, 153, 157, 162-163, 200, 202, 223, 226, 230／6年p.10-11, 15, 19, 66, 85, 88-89, 128, 138, 140-141, 144-145, 158, 162 など
3 組織・配列	①教科書で取り上げる指導時期について、領域全体のバランスや児童の発達段階、日常生活との関連などに配慮した配列になっているか。	①内容の系統性だけでなく、習熟に要する時間や季節なども考慮した配列になっている。	●特に低学年では、 <u>児童の興味の持続性を考慮</u> し、同一領域の内容が何単元も続かないように配慮されている。 【例】2下「かけ算(1)」→「かけ算(2)」→「三角形と四角形」→「九九のきまり」という配列など ●類似内容が複数の単元に分けられ、 <u>習熟の時間が確保</u> できるように配慮されている。 【例】5年「小数のかけ算・わり算」(1学期)→「割合」(2学期)→「割合のグラフ」(3学期)という配列など ● <u>屋外での活動や水を使う教材は暖かい時期に設定</u> され、学年の始めは楽しく学習できる内容や教材の準備などに負担が少ない題材が取り上げられている。 【例】1年p.86-87／2上p.88-93／3上p.99-102, 122 など

項目	観点	特色	事例
	②後の学習に必要な内容を事前にきちんと扱っておくなど系統的な配列になっているか。	②新しい内容を展開する際に必要な内容を明らかにし、系統的に配慮した単元配列になっている。	●1年では、たし算・ひき算にはいる前に『ふえたり へったり』で、実際に増減する数量について体験し、演算の意味がとらえやすいように配慮されている。 【例】1年p.38-39 ●2年では、3の段の九九の構成や $59+29+43$ 、 36×6 、 $250\div 36$ などの筆算の際に不可欠となる $18+3$ のような計算を、基礎計算として、自然に念頭で処理ができるように筆算導入前に配置し、確実に定着できるように配慮されている。 【例】2上p.24-31 ●5年で『比例』単元が『小数のかけ算』単元の直前に設定され、小数のかけ算の式の意味が円滑に理解できるように配慮されている。 【例】5年p.28-31 ●テープ図、線分図、数直線など、後の学習で必要となる図については、『図をつかって考えよう』の中や巻末『算数資料集』で学年を追って系統的に扱われ、かき方も丁寧に説明されている。 【例】2上p.64-65／2下p.58-61／3上p.34-35／4下p.32-33 など
	③各領域の配分は適切に振り分けられているか。	③各領域の内容は、学習効果を上げられるように、ページ数、時間数ともに適切に分配されている。	●低学年では興味・関心の持続性を考慮して、1つの単元はできるだけ少ないページ数で構成されている。また、高学年では、関連する内容を連続させたり、同一の単元内で扱ったりすることで、関連づけながら理解できるようになっている。 ●習熟と定着がはかれるように、学期内に同一の領域が集中したり、特定の領域が抜けたりしないように、適切に分配されている。
	④どこで、どんな内容を学習するかがわかりやすくなるよう配慮がされているか。	④目次では、単元名だけではなく既習との関連が示され、内容の見通しがつくようになっている。また、各時間には、めあてが設定され、学習すべき内容がわかりやすいように配慮されている。	●目次では、単元内容と、それに <u>関連する前学年までの既習事項が示され、系統をふまえて学習内容が概観できる</u> ようになっている。また、『これまでに学んだこと』『この本で学ぶこと』『学びのサポート』の3つの項目に分けられ、本の構成が視覚的にわかりやすく示されている。 ●各単元は、左ページから始まるようになっており、『 <u>みんなで学ぼう</u> 』というタイトルで課題設定文を明示することで、 <u>児童が見通しをもって単元の学習に入れる</u> ように配慮されている。 【例】2上p.24／3上p.10／6年p.42 など ●各時間には、適宜、学習の『めあて』と『まとめ』が設定してあり、その時間に学習する内容を概観できるように配慮されている。 【例】2上p.53／3上p.26／4下p.4／5年p.41／6年p.134-135 など
4 分量・時間	①児童に学力が確実に身に付くように、時間的な扱いについての配慮がなされているか。	①指導と児童の実態をもとに、知識の理解、技能の習得、思考力や表現力の向上が確実に図れるよう時間数やページ数の見直しがされている。	●例えば、以下のように時間数やページ数が変更されている。 【全体】『復習』を学期の中間と期末に計画的に配することで、全体の時間数の調整がはかれている。また、『わくわく算数ひろば』(活用単元)を学期末に位置づけて柔軟に扱えるようにするなど、カリキュラム・マネジメントにも配慮されている。 【1年】1年の巻頭では、幼保小連携の観点からスタートカリキュラムに対応した『わくわく すたあと』を設定し、入学当初の学びを3段階に分けて構成している。 【例】1年表見返～p.17 【2年】『たし算とひき算のひっ算(1)』『たし算とひき算のひっ算(2)』では、ページを増やして『計算のしかた』を図的にわかりやすく表現したり、ノート例を入れたりして充実が図られている。 【例】2上p.48-61 【3年】『あまりのあるわり算』では、つまずきの多い『あまりを考えて』のページ数と時間数が増やされ、丁寧に扱われている。 【例】3上p.111-112 【4年】『折れ線グラフ』は、理科の学習で使えるように指導時期が早められ、複数系列のグラフ(2本の折れ線グラフ)や組み合わせたグラフ(棒グラフと折れ線グラフ)に関する内容が新設されている。また、『割合』単元が新設され、5年の割合の学習につながる整数倍の簡単な割合が、関係図のかき方とともに丁寧に扱われている。 【5年】『比例』『小数のかけ算』『小数のわり算』は、つまずきの多い「小数の乗除の意味理解」への対策として、『比例』単元の新設、「純小数(1より小さい小数)」の扱いの強化など、内容が大幅に見直されている。 【6年】『文字と式』は、ページ数と時間数を増やし、センテンス型の式($y=ax+b$ 等)への過程が丁寧になるように、フリーズ型の式($ax+b$ 等)もしっかりと扱っている。
	②練習や復習問題の分量は適切か。	②練習、復習を計画的に設けることにより、基礎的・基本的な内容の習熟を図れるように配慮されている。	●『練習』『復習』を計画的に設定し、各学年20～30時間程度の時間をあて、学習内容の理解の定着と知識の持続が図れるように配慮されている。 ●各巻末には『じゅんび』や『もっと練習』が設けられ、適宜柔軟に時間を使って補えるように配慮されている。
	③指導時数や発達段階に照らして、全体の分量は適切か。	③繰り返し練習や復習、補充的・発展的な学習などの時間も確保できるように、標準指導時数よりも余裕をもたせた分量で構成されている。	●年間配当時数を160時間以内(1年は127時間)とし、標準時数よりも余裕をもたせた分量で構成して、 <u>繰り返し練習や復習、補充的・発展的な学習などを確保できる</u> ように配慮されている。 【例】1年：127時間／2年：156時間／3年：160時間／4年：160時間／5年：158時間／6年：140時間
	④実際の授業を想定した紙面構成がされているか。	④実際の授業を想定し、1時間の分量や授業の区切りなどを考慮して紙面が構成されている。	●1単位時間の授業の分量が勘案され、 <u>授業の区切りがページの途中にこない</u> ように配慮されている。 ●時間毎にテーマとなる主問題[■]、めあてとまとめ、練習問題[△]を設定して、学習の流れがとらえやすいようになっている。
5 創意・工夫	①児童の興味・関心を喚起し、学習意欲を起こさせる工夫がされているか。	①児童の身近な事象や活動的な題材、既習とのつながりなどを積極的に取り上げ、児童の関心・意欲を引き出し、主体的な学習を促す様々な工夫がされている。	●〈ひなた〉、〈だいち〉など児童といっしょに学んでいく児童キャラクターが設定され、そのつづやきや発言に児童が共感しながら、考える際のヒントにもなるように工夫されている。 【例】1年p.89／2上p.88／4下p.36／5年p.134-135 など ●めあてにつながる児童キャラクターの発言には、『🌱学びのめばえ』が添えられて、学習の流れがつかみやすくなっている。 【例】2上p.88／4下p.36／5年p.134-135 など ●ヒントや考え方の方向を示すキャラクター〈えんぴつくん〉が、児童の活動を援助し、学習意欲を喚起させるよう工夫されている。 【例】2年上p.7／3上p.31／4年上p.37 など ●児童の生活経験や算数の学習経験を重視した素材や活動的な題材が取り上げられ、児童が興味・関心をもてるように構成されている。また、社会、理科、家庭科、体育などの他教科に関連した素材も取り上げられている。 【例】1年p.22-23(いす取りゲーム)／2下p.42-43(動物囲み)／3上p.74-77(好きな遊び調べ)／4上p.26-27(気温の変化)／5年p.100(試合の組分け)／6年p.112-113(オーロラソースづくり) など ●素材は写真やイラストなどを用いて児童が楽しく学習できるように工夫されている。 【例】2上p.10-11／2下p.42(141)／3上p.116-117／4下p.20-21／5年p.10／6年p.10-11 など ●活用のページ『わくわく算数ひろば』は、児童の知的好奇心をくすぐり、主体的に探究活動に取り組めるように配慮されている。 【例】3上p.92-95／5年p.92-97、186-187／6年p.202-207 など ●巻末の『学びのサポート』では、児童の興味・関心に応じて自主的に取り組むことのできる内容が取り上げられている。 【例】2年上p.121-141、2下p.121-135／3下p.115-135／4上p.139-168／5年p.247-296／6年p.249-292 など

項目	観点	特色	事例
	②具体的な操作を行う活動などの数学的活動を通して理解できるように工夫されているか。	②巻末に切り取り教具や算数資料集が掲載され、児童が操作を通して、実感を伴った理解ができるように配慮されている。	●児童が操作する活動を想定した箇所には写真を掲載し、具体的操作がイメージできるように構成されている。 【例】1年p.30-31, 82-87／2上p.92, 2下p.80-84／3上p.122／4下p.86／5年p.155, 195／6年p.14, 18 など ● <u>巻末の切り取り教具を使った操作活動を通して実感を伴った理解ができるように工夫されている。</u> 【例】2下 九九の円盤／3上 てんびん／4上 分度器／5年 円周測定マシン など
6 絵図・写真など	①児童の理解にふさわしい挿絵や図、写真などが効果的に使用されているか。	①実生活の様々な事象を提示する場面や児童に活動を促す場面では、積極的に写真を用いて臨場感を高められるように配慮されている。	●作業や調査などの活動の場面では、 <u>児童が生き生きと活動している臨場感のある写真が効果的に使用され</u> 、活動がイメージしやすいように配慮されている。 【例】1年p.22, 70, 82-87／3上p.116-117 など ●単元の導入時など効果的な場面では、生活に密着した身近な題材がダイナミックなカラー写真や絵で提示されている。 【例】2上p.10-11／3上p.58／5年p.150／6年p.128 など ●挿絵は、児童が興味をもち楽しい活動がイメージできるように、また、問題の理解や解決に役立つヒントになるように、学年の発達段階を考慮しながら様々なタッチのものが採用されている。 【例】1年巻頭／2上p.88／4上p.54／5年p.100 など
	②児童の思考の拠り所となる基礎操作や図などについても発達段階をふまえて系統的に扱われているか。	②基礎操作や問題解決に有効にはたらく図についても、学年を追って系統的に扱われている。	●数や計算の意味理解のために、20までの数については、数図ブロックを基本とし、具体物・半具体物・数字の関係をとらえながら数概念が身につくように配慮されている。一方、記数法的な見方が必要となる大きな数については、計算棒で束をつくる・くずすという操作と繰り上がり・繰り下がりとを対応させながら数や計算の理解ができるように配慮されている。 【例】1年p.67, 130-133／2上p.25-31, 49-56, 103-109 など ●数の相対的な大きさに着目させたい場面では、児童が個数に着目した相対的な見方がしやすいように、貨幣や紙幣が取り上げられている。 【例】1年p.139／2上p.79, 2下p.93／3上p.31, 3下p.23／4上p.49, 115 など ●問題解決の際に有効にはたらくテープ図・線分図・関係図・表などのかき方については単発的に扱うのではなく、おもに『 <u>図をつかって考えよう</u> 』(思考法) <u>単元の中で段階を追って系統的に扱われ、巻末の『算数資料集』にまとめられている。</u> 【例】2上p.64-65, 114-117, 2下p.58-61／3上p.34-37, 3上p.98-99／4下p.87-90 など ● <u>演算決定の際などに用いる数直線が系統的に扱われており、そのかき方は、本文や巻末に詳しく記載されている。</u> 【例】1年p.140-141／2上p.80-81／3下p.44-45／4下p.34-36／5年p.52-58, 284-285／6年p.42-45, 280-281 など ●考えやすい図は児童によって異なるため、テープ図、線分図、関係図、数直線図、表など様々なものが扱われ、特定のものだけに偏らないように配慮がされている。
	③引用されている資料は正確で新しいものが使われているか。	③統計資料は可能な限り最新のものが使用されている。	●教材として取り上げてある統計資料・写真については、児童に馴染みやすく算数科の指導目標に合った正確で新しいものが使用されている。 【例】4上p.34-35, 54／5年p.200／6年p.82-83 など
7 表記・表現	①文章表現は、読みやすく、意味がとらえやすいようになっているか。	①意味がとらえにくい表現、色々な意味にとれるあいまいな表現は避け、正確で丁寧な文章表現になっている。	●文章表現については、 <u>国語教育・言語力の専門家の監修のもと、読みやすく意味がとらえやすいように配慮</u> されている。 ●文章の改行位置を意味の区切りで行い、読みやすさに配慮されている。 ●教科書で取り上げられた定義は、児童の発達段階を考慮して、数学的な厳密性よりも直観的にとらえやすく、わかりやすいものが採用されている。 【例】3下p.5「円」／4年上p.119「割合」 など
	②漢字や仮名遣い、アルファベットなどの扱いは国語科や英語科との関連が配慮されているか。	②当該学年の配当漢字までが扱われており、見開きの初出にふりがながふられている。	●漢字は原則として当該学年までの配当漢字を扱い、見開きの初出にふりがながふられている。 【例】2上p.10, 11(「何」「人気」にふりがな) など ●算数用語には配当学年に関わらず、必要に応じてふりがながふられている。なお、カタカナは1年の3学期以降で使用されている。 ●アルファベットは4年以降で使用されているが、2, 3年でも指導する量の単位の書き方はアルファベット指導との関連を考慮して、丁寧に記述されている。
8 印刷・造本	①文字、挿絵、写真など、色彩は鮮明に印刷されているか。	①文字の大きさや字体、行間などは児童の発達段階を考慮して読みやすいように配慮されている。また、印刷は鮮明で、色彩については、目に優しい中間色が基調になっている。	●文字は国語科との関連も考慮して教科書体を基本とし、 <u>ボディが広くてよみやすい肉厚の字体(ユニバーサルデザインフォント)が使われている</u> 。算数用語など強調する太字体についても書写指導と食い違いが起こらない字体が採用されている。 ●文字の大きさは、児童の発達段階を考慮して、低学年ほど大きく高学年になるにつれて徐々に小さくなっている。また、文字間や行間もよみやすく設定されている。 ●挿絵や写真の上に文字が重なる場合は、文字の背景やまわりを白くするなどの処理を施してよみやすくなるように配慮されている。 ●色使いについては、 <u>カラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、見分けることが困難な配色を避け、色だけで判断するような問題は取り上げないなどの配慮</u> がされている。
	②用紙・製本は使いやすい配慮がされているか。	②用紙・製本は、実際に児童が教科書を使って様々な活動することを考慮し、堅牢で使いやすい工夫がされている。	●多様な児童の取り扱いや長期間の使用に耐え得るように、きわめて堅牢に製本されている。 ●測る、書き込むなど、教科書を使った作業がしやすいように、 <u>ページを左右いっぱいに関くことのできる、あじろ綴の製本形式が採用</u> されている。 ●表紙・裏表紙には汚れにくくて丈夫な加工がされている。裏表紙の氏名欄は、鉛筆でも書き込みやすい加工がされている。 ●1年巻頭『わくわく すたあと』では、 <u>書き込んだり消したりしやすいように、特別な用紙が使われている。</u> 【例】1年表見返～p.17 ● <u>巻末の切り取り教具には、場面に応じて、丈夫な厚紙や透ける薄紙、プラスチック素材などが使用され</u> 、児童が活動しやすくなっている。 【例】3上 てんびん／4上 分度器／5年 円周測定マシン／6年 対称な図形 など
	③紙面構成はよみやすい配慮がされているか。	③紙面にゆとりを持たせ、よみやすくわかりやすいように配慮されている。	●紙面を文字でぎっしり埋めず、写真や挿絵などを有効に活用したり、かき込みスペースを設定して余白を十分に確保したりするなど、視覚的に内容をとらえやすくなるように配慮されている。
	④環境やアレルギーに対する配慮はされているか。	④用紙・印刷において、環境やアレルギーなどに配慮されている。	● <u>環境に優しい再生紙や化学物質をおさえた植物油インキを使用</u> するなど、環境問題やアレルギー問題に配慮されている。
	⑤教科書の重さについて配慮がされているか。	⑤用紙・印刷において、軽量化に配慮されている。	● <u>軽量で裏書きせず、印刷が鮮明な本文用紙を採用</u> するなど、教科書の軽量化に配慮されている。

指導書のご紹介(別売品)

日々の授業にもっと寄り添えるよう リニューアルしました。

朱註編と板書ブックは
分売も予定しています。
ぜひ、クラスで1冊ずつ
ご準備ください！



第1部 総説



算数教育について
まとめた解説書

第2部 詳説

朱註編



授業の展開とポイントが
わかる, 教科書全ページ
対応の指導書

板書ブック



毎時の板書例と展開例を
1冊にまとめた便利な指導書

研究資料編



指導計画の立案や研究の
ための参考資料が豊富な
指導書

コピー教材集



コピーして配布できる
ワークシートやテストの
教材集



素材データ集

評価規準表,
図版などの
素材データ集



問題DB

問題データベース
ソフト
(Microsoft Word)

朱註編

③ たし算と ひき算 (5時間) ① たし算

→ 第1時のねらい

- 単元の課題をつかむ。
- 数のまとまりに着目して暗算の仕方を考え、(何十何)+(何)で、和が何十になる暗算ができる。

準備 (教) 問題場面、絵、指導用計算棒 (見) 計算棒

● 導入 10分

・文と絵から、問題場面をとらえさせる。

【注意】絵で、机の上に先生が用意した色紙があり、手元には家から持ってきた色紙があることを確かめるようにする。

・そうたさんの色紙が全部で何枚あるかを式にかけて計算させる。

【例題1】どんな式になりますか。そのわけをいいます。

【反例】A: $17+2$ です。あわせるから、たし算の式になります。

【例題2】そうたさんの色紙は、全部で何枚ですか。

【反例】A: 19枚です。

・あおいさんの色紙が全部で何枚あるかを求める式をかかせる。

【例題3】どんな式になりますか。そのわけをいいます。

【反例】答: 式は $17+3$ です。あわせるから、たし算の式になります。

・単元の課題をつかませる。

③ たし算と ひき算

① たし算

17+3の計算をしてみよう。

② ひき算

36-4の計算をしてみよう。

③ 30の補数

30-22の計算をしてみよう。

④ 30の補数

30-25の計算をしてみよう。

⑤ 30の補数

30-22の計算をしてみよう。

⑥ 30の補数

30-25の計算をしてみよう。

見方・考え方 発展的な場面を意識させる

課題設定にあたっては、既習の $17+2$ のように上りのたし算の加数を2から3と大きくし、発展的に上りのたし算の場面を提示する。実際の指導では、いきなり問題を提示するのではなく、絵を見て具体的に問題場面をとらえるところから始める。

▶ 本単元で扱うたし算の暗算の意義 → 研究資料集 p.75

使い方

指導書活用Naviシートを朱註に追加予定！
日々の指導書の使い方をわかりやすく解説します。

展開例
問題解決型学習に
沿った展開例

板書例
1時間の板書例を
詳しく掲載

つまずきと対策
よくあるつまずき
への対応策を掲載

見方・考え方
数学的な見方・
考え方について言及

板書ブック

3. たし算と ひき算

第1時 (p.24~25)

③ 既習の $17+2$ をもとに $17+3$ と式を通して暗算の仕方をつかむ。
(何十何)+(何)で、和が何十になる暗算ができる。

① 17+3の計算をしてみよう。

② 36-4の計算をしてみよう。

③ 30の補数

④ 30の補数

⑤ 30の補数

⑥ 30の補数

⑦ 問題の把握

⑧ 自力解決

⑨ 話し合い

⑩ 振り返り

⑪ 振り返り

⑫ 振り返り

※制作中のため、仕様及び内容に変更になる場合がございます。

デジタル教科書(学習者用)のご紹介(別売品)

児童一人ひとりのために

新学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」のための授業支援として、また、視覚障害、発達障害など、様々な障害等により紙媒体の教科書を使用して学習することが困難な児童の学習支援として、「デジタル教科書※(学習者用デジタル教科書)」を通常の紙の教科書に代えて使用することが可能になりました。

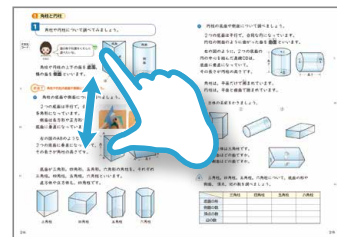
※デジタル教科書 … 紙媒体の教科用図書と同一の内容を記録した電磁的記録である教材のこと。



基本的な機能のご紹介

拡大機能

注目するところ、見たいところを、ピンチアウト操作などで簡単に大きく表示できます。



ペン機能

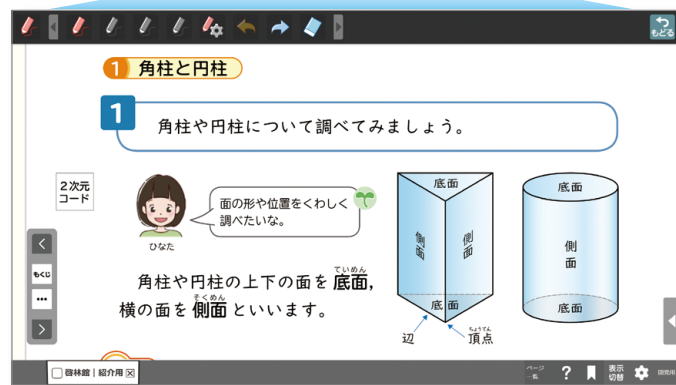
様々な線種や色、太さで、どんどん書きこめます。間違っても簡単に消したりやり直したりできます。

保存機能

書きこみをはじめとする様々な学習履歴が保存されますので、いつでも続きが再開できます。

QRコード

紙の教科書にあるQRコードがデジタル教科書でも利用できます。動画やアニメーションなどは、オフラインで利用できます。



この他、お互いの書き込みや意見をスムーズにやり取りするためのツールや、重要な用語やきを暗記するための暗記ペンなど、様々なツールがご利用できます。

特別支援に関する機能

紙媒体の教科書のみを使用して学習することが困難な児童のための学習支援機能を充実しました。アクセシビリティを重視し、一人ひとりのニーズに応えます。



音声読み上げ
(速度調整可)



拡大表示
(文字サイズ変更、リフロー表示、行間調整等)



色の反転・配色変更
(文字色、背景色等)



総ルビ表示

Option

追加購入で、デジタル教科書に豊富なコンテンツを追加できます。

シミュレーション

図や写真を動かしたり、数値を変えたりして、試行錯誤しながら学びます。

スライド

重要事項や概念を、スモールステップで解説し児童の理解を助けます。

フラッシュカード

重要用語や計算を繰り返し練習し、基礎・基本の定着をはかります。

動画

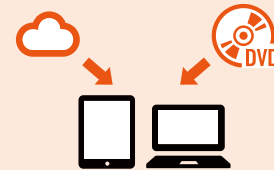
道具の使い方や切り取り、教具の作り方などを、何度も繰り返し見ることができます。

他にも魅力的なコンテンツがいっぱいです。

アプリ版

オフラインで
いつでもどこでも使いたい！

タブレット等に専用ビューア、コンテンツをインストールして利用します。一部のURLへのリンク機能を除き、教科書画面やQRコンテンツ、追加購入した各種コンテンツがオフラインでご利用いただけます。



ブラウザ版

インストールや更新の
手間を抑えたい！

学校等のサーバーにデジタル教科書のデータを配置し、クライアント端末のOSに付属のブラウザで閲覧・操作します。サーバーにデータを配置しますので、インストールや更新作業の工数を抑えることができます。オンライン環境が必要です。

※表示速度は、サーバーからクライアント端末までの有線・無線の通信環境により変わります。



動作環境	学習者用・指導者用とも動作環境は共通です。また、アプリ版・ブラウザ版も同様です。				
対応OS	Windows		iOS		
	Windows 10 (64bit日本語版)を推奨 ※Sモードは対象外 Windows 8.1 (32bit/64bit日本語版) ※Windows RTは非対応		iOS 11以上		
解像度	1366x768以上 (1920x1080程度を推奨)		Retina解像度のiPad		
その他	CPU	Core i3以上を推奨		対象 タブレット	iPad Air2以上
	メモリ	4GB以上			
	HDD空き容量	1GB以上+教材や学習履歴の保存領域			
	画面の表示色数の設定	32ビットカラー			
ブラウザ版 (機能制限あり)	Chrome, Edgeの最新版を推奨 (IE11は左記ブラウザより速度が低下します。音声読み上げ非対応) ※Web配信が快適にできる環境 (WindowsServer 2012以上)			Safariを推奨	

●ブラウザ版はネットワーク接続が必須です。●Windowsは、マイクロソフト社の登録商標です。●iOSは、Ciscoの登録商標です。●iPadは、Apple Inc.の登録商標です。 ※画面や機能は現在開発中のため、変更になる場合がございます。予めご了承ください。

指導者用 デジタル教科書

「学習者用デジタル教科書」は、学習者用端末で利用する児童一人ひとりを対象にしたライセンス商品です。別途、学校内の指導者用端末にインストールでき、授業でクラス内すべての児童を対象に教科書紙面やコンテンツを電子黒板やプロジェクタで拡大提示できるライセンスを有した「指導者用デジタル教科書(教材)」も、現行版以上にさらに充実して発売予定です。



付録CDにデジタル教科書の機能の紹介動画を収録しています。
[start.html](https://digi-keirin.com/dtext/sansu.html)をクリックして、メニューから選んでご覧ください。

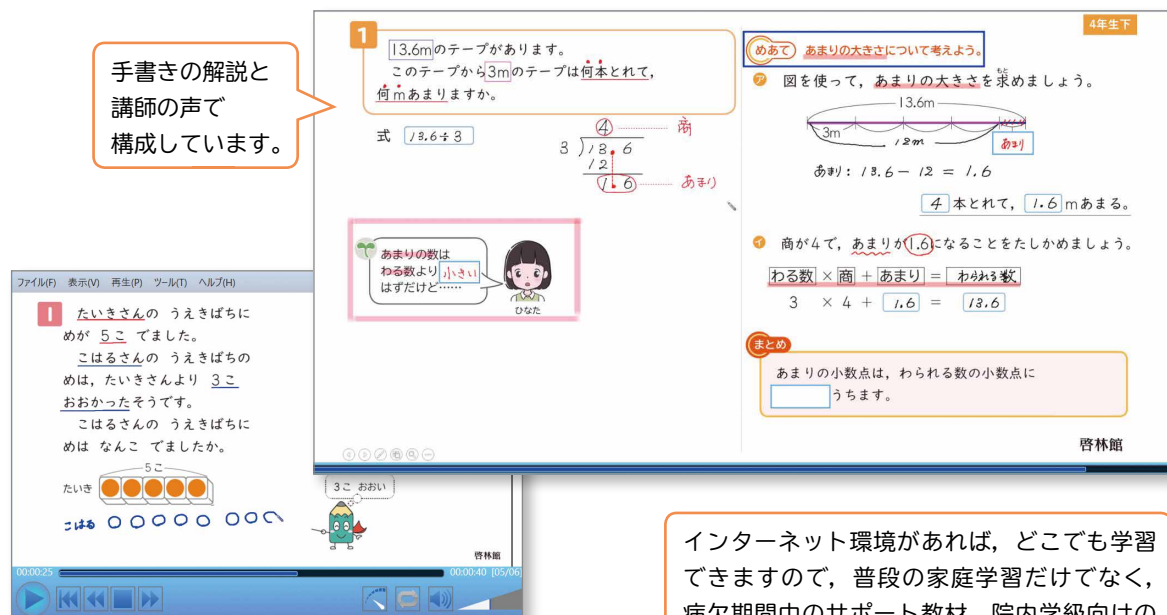
体験版や詳しい内容は <https://digi-keirin.com/dtext/sansu.html>

体験版ユーザーアカウント
ID: keirin-sansu
PW: Sansu2020
※PW先頭のSは大文字

学習動画のご紹介

※制作中のため、仕様及び内容は変更になる場合がございます。

「わくわく算数」の全ての問題(みんなで考える問題)を解説した、**無料の学習動画「スマートレクチャー」**をご用意しました。
1年生から6年生まで全900本以上のコンテンツを、登録不要で手軽に視聴できますので、授業で習ったことを確認するだけでなく、学年を遡って既習内容をふり返ることもできます。



Windows, Android, iOS に対応していますので、PC, スマートフォン, タブレット等、様々な環境でご利用できます。

インターネット環境があれば、どこでも学習できますので、普段の家庭学習だけでなく、病欠期間中のサポート教材、院内学級向けのコンテンツとしてもご利用いただけます。

拡大教科書のご紹介

弱視児童への配慮として、通常の教科書の文字や図形、イラストなどを大きく、読みやすく構成し直した教科書です。

弱視の程度に合わせて選べるように、文字の大きさを違えたものを3種類をご用意しました。

弊社教科書の算数・理科・生活科・外国語の4教科、全学年で発行します。

1年生教科書 原寸

6+7の けいさんの しかたを

拡大
教科書
原寸

22pt

6+7の けいさんの

26pt

6+7の けいさんの

30pt

6+7の けいさんの

教科書準拠教材のご紹介(別売品)

※制作中のため、仕様及び内容は変更になる場合がございます。

より主体的な一斉授業に！

わくわく算数 掛図

算数授業のユニバーサルデザインの考えにもとづいて、すべての児童にとってわかりやすい、参加する掛図を目指しました。

POINT 1

教科書と同じ挿絵の拡大版

準備が大変な拡大コピーや自作のさし絵を用意しなくても、手軽に効果的な授業ができます。

POINT 2

作業やゲームの仕方が実演可能

ホワイトボードマーカーやマグネシートで、具体的な操作をわかりやすく説明できます。

POINT 3

掛図ガイドブック付き

掛図を使った指導案を掲載し、より有効な活用法を紹介いたします。

ノート指導・特別支援教育に！

わくわく算数 教科書ノート

わくわく算数教科書の1時間の授業にあわせたノート指導のためのノートです。

POINT 1

テーマとなる問題や教科書の図などが掲載

問題を書き写す時間が短縮され、考える時間を確保できます。児童全員が同じものを使うことで、ノート指導がしやすくなります。

POINT 2

教師用書には教科書該当ページの板書例(ノート例)が記載

教師用書を確認することで、授業の流れがイメージしやすくなります。

POINT 3

発達段階に応じたノートのマス目を使用ゆとりをもって書き込むことができます。

家庭学習や自学自習に！

わくわく算数 問題集

わくわく算数教科書に完全準拠した問題集です。

POINT 1

ほぼ全ての単元の前に「準備」の問題を設置

児童のレディネスチェックに役立ちます。

POINT 2

基礎基本を重視しつつ、間違いやすい問題や少し難しい問題にはマークを付記

児童の実態にあわせて選択することができ、確かな算数力を育みます。

POINT 3

「スマートレクチャーわくわく算数」も活用可能

苦手な内容を、教科書に戻って復習することができます。

観点別評価やつまずき対策に！

わくわく算数 評価テスト

わくわく算数教科書に完全準拠した評価テストです。

POINT 1

基礎・基本版と活用力版のラインナップ

プレテスト、おさらいシートの有無も学級にあわせて選べます。

POINT 2

冊子タイプの教師用書が付属

採点がしやすく、その後の指導に役立つ情報も盛り込む予定です。

POINT 3

「スマートレクチャーわくわく算数」も活用可能

苦手な内容を、教科書に戻って復習することができます。

さくいん(キーワード)

ICT	5, 9, 17, 58, 68-70	数学的活動	3, 26-37, 54, 56, 64
ESD	60	数学的な見方・考え方	3, 10-11, 26-37, 54
SDGs	60	スタートカリキュラム	8, 57, 61, 63
インクルーシブ教育	59	全国学力・学習状況調査	18, 58
オリンピック・パラリンピック教育	59	相互評価	58
外国語	61	他教科との連携	60
拡大教科書	59, 70	多様な考え方	28, 34, 57
家庭学習	5, 9, 58, 70, 71	短時間学習	18, 61
カリキュラム・マネジメント	60, 63	地域	60
環境教育	57, 60	知識・技能	3, 54, 56
基礎・基本の定着	9, 18, 54, 56, 58	デジタル教科書	59, 68-69
キャリア教育	19, 58	統計(データの活用)	3, 20-21, 56, 64
言語活動	14, 54	統合的・発展的な考え	3, 15, 32-37
国際理解	58	道徳	58
ジェンダー	58	特別支援教育	58, 68, 70, 71
自学自習	58	ノート指導	7, 12, 71
思考法・文章題	12, 33, 55, 57	福祉	58
思考力・判断力・表現力	3, 54, 56, 58	プログラミング	3, 5, 17, 32, 56
自己評価	15, 18, 58	防災教育	60
資質・能力	3, 54, 56, 58	学びに向かう力	3, 11, 15, 56
習熟度別学習	14, 58	学びの見通し	6, 10-11, 54, 56, 62
主体的・対話的で深い学び	26-37, 56	ユニバーサルデザイン	59, 65, 72
小中連携	24, 37, 56	幼保小連携	8, 56, 63
人権	58	割合	22-25, 59, 63

教科書のユニバーサルデザインについて

色覚の個人差を問わず、誰もが紙面の内容を判別しやすい配色にしています。また、色だけで区別するのではなく文字情報も添えるなど、ユニバーサルデザインに配慮しています。



MUD
個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です。

文字のフォント(書体)は、学習指導要領に準拠して点やハライの形状は正確に表しつつ、太さの強弱を抑えたUD デジタル教科書体を採用しています。視覚の個人差で、学習の理解に支障がないように配慮しています。

右の円の半径は何 cm
また、直径は何 cm で

3年下 p.120

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

著作編修関係者

清水 静海	帝京大学教授	鈴木 詞雄	創価大学准教授
根上 生也	横浜国立大学教授	田代 勝	東京学芸大学附属大泉小学校教諭
寺垣内 政一	広島大学教授	辰崎 圭	呉市立呉中央小学校教諭
矢部 敏昭	鳥取大学副学長	田中 伸明	三重大学教授
愛須 一弘	湯浅町立山田小学校校長	土屋 誠司	東京都江戸川区立小岩小学校教諭
青木 浩幸	国際基督教大学助教	中井 義時	山形大学教授
青山 和裕	愛知教育大学准教授	中川 慎一	元南砺市立福光東部小学校校長
青山 泰浩	元京都市立仁和小学校校長	中島 さち子	東京大学特任研究員
阿部 好貴	新潟大学准教授	橋本 隆公	大阪成蹊大学准教授
飯島 康之	愛知教育大学教授	八斗 孝之	千葉市立瑞穂小学校校長
家田 晴行	東京家政大学教授	服部 勝憲	元鳴門教育大学教授
猪狩 佑太	東京学芸大学附属大泉小学校教諭	服部 裕一郎	高知大学講師
石田 淳一	横浜国立大学教授	馬場 卓也	広島大学教授
石浜 健吾	千葉大学附属小学校教諭	濱比嘉 宗隆	沖縄女子短期大学教授
今井 敏博	同志社女子大学教授	日和佐 尚	園田学園女子大学准教授
岩崎 賢一郎	五泉市立五泉東小学校教諭	福本 義久	四天王寺大学准教授
岩崎 秀樹	広島大学名誉教授	藤井 良宜	宮崎大学教授
上野 和彦	玉川大学客員教授	藤岡 洋介	仁川学院小学校教諭
江橋 直治	国立学園小学校教諭	藤澤 直子	上田市立豊殿小学校教頭
太田 直樹	福山市立大学講師	藤本 義明	愛媛大学教授
太田 誠	東海学園大学准教授	細井 宏一	東京学芸大学附属大泉小学校副校長
岡部 恭幸	神戸大学教授	細江 孝太郎	富山大学附属小学校教諭
小川 康夫	岩倉市立岩倉中学校教頭	牧野 智彦	宇都宮大学准教授
小口 祐一	茨城大学教授	牧野 尚美	福井市木田小学校教諭
小原 豊	関東学院大学教授	松尾 七重	千葉大学教授
影山 和也	広島大学准教授	溝口 達也	鳥取大学准教授
神山 繁樹	西東京市立保谷第二小学校校長	宮崎 樹夫	信州大学教授
亀岡 正睦	京都文教大学教授	村上 斉	東北大学教授
河田 慎太郎	奈良女子大学附属小学校教諭	森 敏行	慶應義塾幼稚舎教諭
康 貴利	大阪市立諏訪小学校教頭	山 縣 秀雄	成田高等学校附属小学校教諭
木根 主税	宮崎大学准教授	山下 英俊	元那珂川市立岩戸小学校校長
草地 貴幸	岡山大学附属小学校教諭	吉村 直道	愛媛大学教授
楠 博文	就実大学准教授	渡邊 敏夫	元岡山市立福浜小学校校長
黒崎 東洋郎	岡山理科大学教授	渡辺 美智子	慶應義塾大学教授
古藤 怜	上越教育大学名誉教授	株式会社新興出版社啓林館編集部	
小西 豊文	甲南女子大学教授		
古本 温久	関西大学初等部教諭		
齋藤 直大	東京都文京区立小日向台町小学校教諭		
斉藤 規子	昭和女子大学教授		
櫻井 孝俊	福岡教育大学学長		
指熊 衛	兵庫教育大学附属小学校教諭		
佐藤 学	秋田大学教授		
柴田 録治	愛知教育大学名誉教授		
島田 功	日本体育大学教授		
清水 克彦	東京理科大学教授		
志水 廣	愛知教育大学名誉教授		
下口 真砂代	福井市下宇坂小学校教頭		
神保 勇児	東京学芸大学附属大泉小学校教諭		
杉 能道明	ノートルダム清心女子大学准教授		

《特別支援教育に関する監修》	柘植 雅義	筑波大学教授
《言語力に関する監修》	芥川 元喜	金沢星稜大学准教授
石川 一恵	大阪市立中野小学校教諭	
小椋 靖美	大阪市立大国小学校教諭	
八瀬 宗子	大阪市立古市小学校教諭	
藪下 泰弘	大阪市立高津小学校教諭	
《道徳教育に関する監修》	天田 有香	大阪市立中央小学校教諭
藤岡 三奈子	大阪市立豊仁小学校教諭	
《防災・減災に関する監修》	河田 恵昭	関西大学特別任命教授・社会安全研究センター長

「わくわく算数」表紙のご紹介

今回のわくわく算数は、表紙でも「学びのつながり」を意識し、表紙、裏表紙、さらに次の巻の表紙と、イラストのストーリーがつながる構成になっています。

まず、1年生の表紙・裏表紙で、算数の妖精たちは動物たちと出会い、材料をもらって木の車をつくります。

その後、学年が上がるにつれて陸から海、空へと世界が広がり、最終的に6年生では宇宙に飛び出します。

これらのイラストには、子どもたちが算数の学習を進める中で、周囲と協力しながら

主体的に、学びの世界を広げてほしいという願いが込められています。



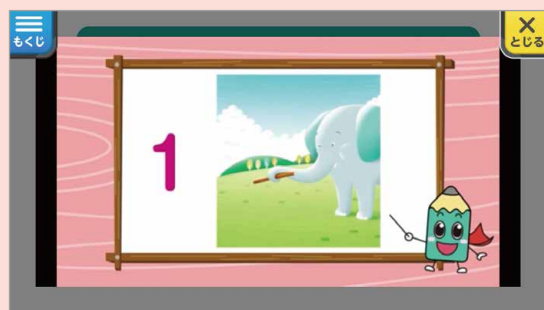
1年表紙



1年裏表紙イラスト



各巻の表紙には、ストーリーや学習内容にあった算数の内容が隠れています。
どんな算数が隠れているかは、教科書表紙に掲載のQRコードからご覧ください！



1年の表紙「かぞえよう」より



表紙のお話「わくわく算数だいぼうけん」より

※QRコードの情報は無料ですが、インターネット接続に必要な費用やパケット通信料などは、
使用される方のご負担になります。通信環境をご確認の上、ご利用ください。

※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



啓林館ホームページ
<http://www.shinko-keirin.co.jp/>

本社 〒543-0052 大阪市天王寺区大道4丁目3番25号
東京支社 〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目3番10号
北海道支社 〒060-0062 札幌市中央区南二条西9丁目1番2号サンケン札幌ビル1階
東海支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目15番20号ie丸の内ビルディング1階
広島支社 〒732-0052 広島市東区光町1丁目7番11号広島CDビル5階
九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイヒルズビル5階

電話(06)6779-1531
電話(03)3814-2151
電話(011)271-2022
電話(052)231-0125
電話(082)261-7246
電話(092)725-6677